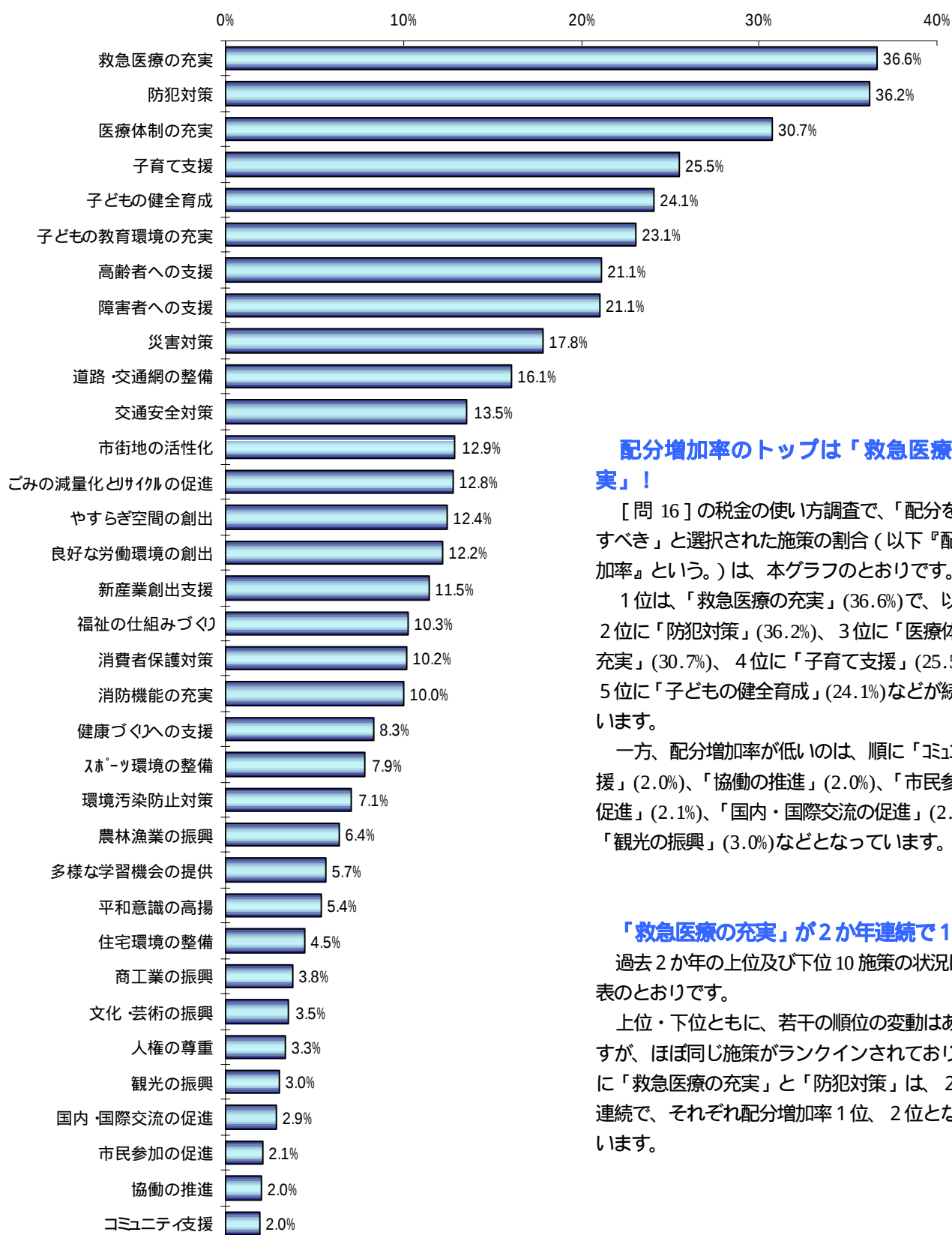


第6 税金の使い方調査結果

1 税金の配分

(1) 配分増加率

全体の結果



配分増加率のトップは「救急医療の充実」！

〔問 16〕の税金の使い方調査で、「配分を増やすべき」と選択された施策の割合（以下『配分増加率』という。）は、本グラフのとおりです。

1位は、「救急医療の充実」（36.6%）で、以下、2位に「防犯対策」（36.2%）、3位に「医療体制の充実」（30.7%）、4位に「子育て支援」（25.5%）、5位に「子どもの健全育成」（24.1%）などが続いています。

一方、配分増加率が低いのは、順に「コミュニティ支援」（2.0%）、「協働の推進」（2.0%）、「市民参加の促進」（2.1%）、「国内・国際交流の促進」（2.9%）、「観光の振興」（3.0%）などとなっています。

「救急医療の充実」が2か年連続で1位！

過去2か年の上位及び下位10施策の状況は、右表のとおりです。

上位・下位ともに、若干の順位の変動はありますが、ほぼ同じ施策がランクインされており、特に「救急医療の充実」と「防犯対策」は、2か年連続で、それぞれ配分増加率1位、2位となっています。

配分増加率上位 10 施策の推移

平成 18 年度			平成 19 年度		
順	施策名	値	順	施策名	値
1	救急医療の充実	29.7%	1	救急医療の充実	36.6%
2	防犯対策	28.0%	2	防犯対策	36.2%
3	子どもの健全育成	22.7%	3	医療体制の充実	30.7%
4	医療体制の充実	20.6%	4	子育て支援	25.5%
5	子育て支援	20.0%	5	子どもの教育環境の充実	23.1%
6	子どもの教育環境の充実	17.9%	6	子どもの健全育成	23.1%
7	高齢者への支援	15.7%	7	高齢者への支援	21.1%
7	市街地の活性化	15.7%	8	障害者への支援	21.1%
9	環境汚染防止対策	15.3%	9	災害対策	17.8%
10	障害者への支援	15.2%	10	道路・交通網の整備	16.1%

太字は、2 か年とも上位 10 位の施策

小数点第 2 位を四捨五入しているため、同じ値でも順位が異なる場合がある。

配分増加率下位 10 施策の推移

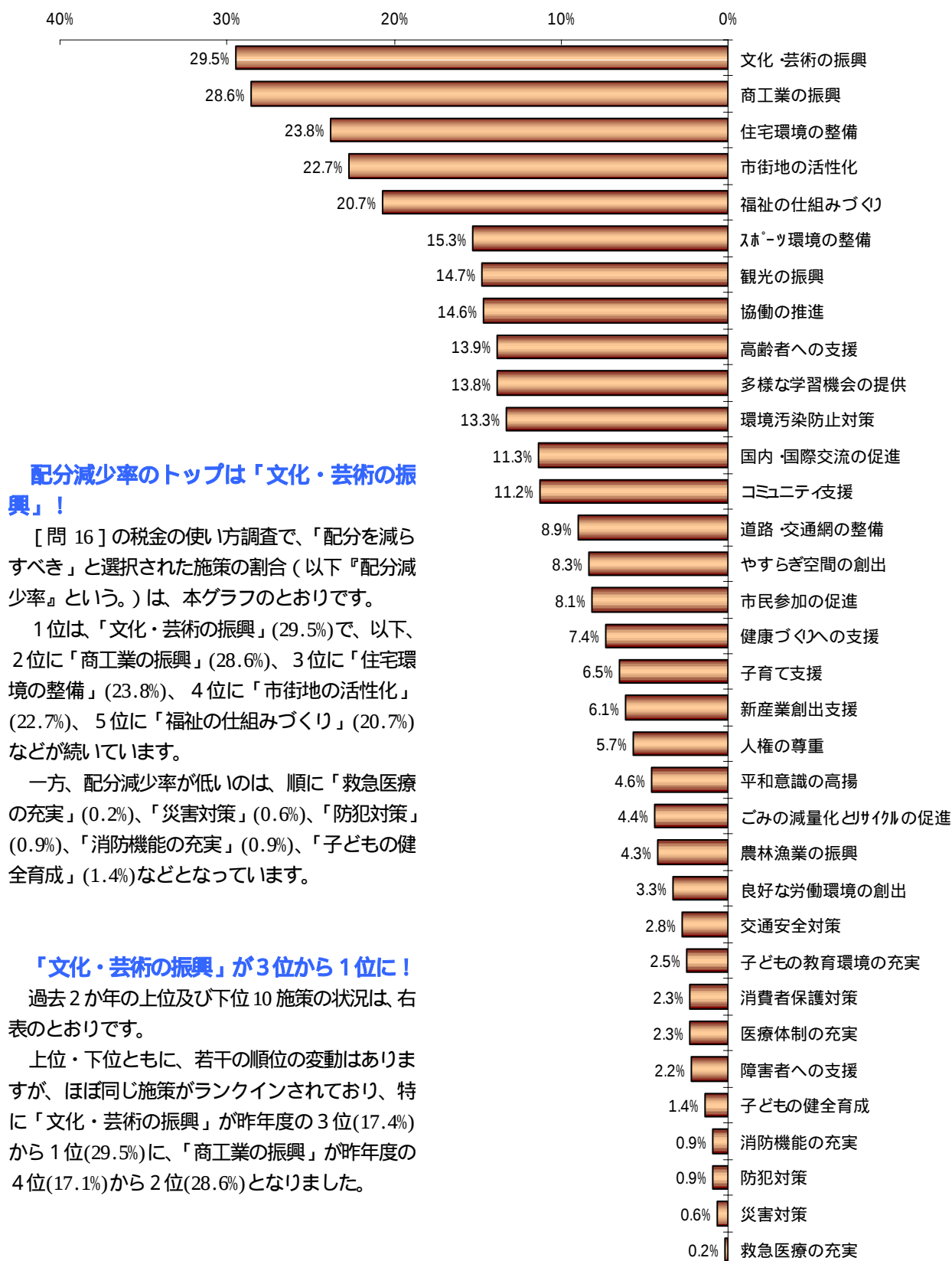
平成 18 年度			平成 19 年度		
順	施策名	値	順	施策名	値
25	商工業の振興	3.2%	25	平和意識の高揚	5.4%
26	住宅環境の整備	3.1%	26	住宅環境の整備	4.5%
27	平和意識の高揚	3.0%	27	商工業の振興	3.8%
28	農林漁業の振興	2.7%	28	文化・芸術の振興	3.5%
29	文化・芸術の振興	2.6%	29	人権の尊重	3.3%
30	国内・国際交流の促進	2.2%	30	観光の振興	3.0%
31	観光の振興	2.1%	31	国内・国際交流の促進	2.9%
32	人権の尊重	1.7%	32	市民参加の促進	2.1%
33	コミュニティ支援	1.5%	33	協働の推進	2.0%
34	市民参加の促進	0.8%	33	コミュニティ支援	2.0%

太字は、2 か年とも下位 10 位の施策

小数点第 2 位を四捨五入しているため、同じ値でも順位が異なる場合がある。

(2) 配分減少率

全体の結果



配分減少率のトップは「文化・芸術の振興」！

〔問 16〕の税金の使い方調査で、「配分を減らすべき」と選択された施策の割合（以下『配分減少率』という。）は、本グラフのとおりです。

1位は、「文化・芸術の振興」（29.5%）で、以下、2位に「商工業の振興」（28.6%）、3位に「住宅環境の整備」（23.8%）、4位に「市街地の活性化」（22.7%）、5位に「福祉の仕組みづくり」（20.7%）などが続いています。

一方、配分減少率が低いのは、順に「救急医療の充実」（0.2%）、「災害対策」（0.6%）、「防犯対策」（0.9%）、「消防機能の充実」（0.9%）、「子どもの健全育成」（1.4%）などとなっています。

「文化・芸術の振興」が3位から1位に！

過去2か年の上位及び下位10施策の状況は、右表のとおりです。

上位・下位ともに、若干の順位の変動はありますが、ほぼ同じ施策がランクインされており、特に「文化・芸術の振興」が昨年度の3位(17.4%)から1位(29.5%)に、「商工業の振興」が昨年度の4位(17.1%)から2位(28.6%)となりました。

配分減少率上位 10 施策の推移

平成 18 年度			平成 19 年度		
順	施策名	値	順	施策名	値
1	住宅環境の整備	22.8%	1	文化・芸術の振興	29.5%
2	健康づくりへの支援	21.9%	2	商工業の振興	28.6%
3	文化・芸術の振興	17.4%	3	住宅環境の整備	23.8%
4	商工業の振興	17.1%	4	市街地の活性化	22.7%
5	高齢者への支援	14.0%	5	福祉の仕組みづくり	20.7%
5	市民参加の促進	14.0%	6	スポーツ環境の整備	15.3%
7	観光の振興	12.6%	7	観光の振興	14.7%
8	スポーツ環境の整備	11.3%	8	協働の推進	14.6%
9	多様な学習機会の提供	11.2%	9	高齢者への支援	13.9%
10	福祉の仕組みづくり	10.0%	10	多様な学習機会の提供	13.8%

太字は、2 か年とも上位 10 位の施策

小数点第 2 位を四捨五入しているため、同じ値でも順位が異なる場合がある。

配分減少率下位 10 施策の推移

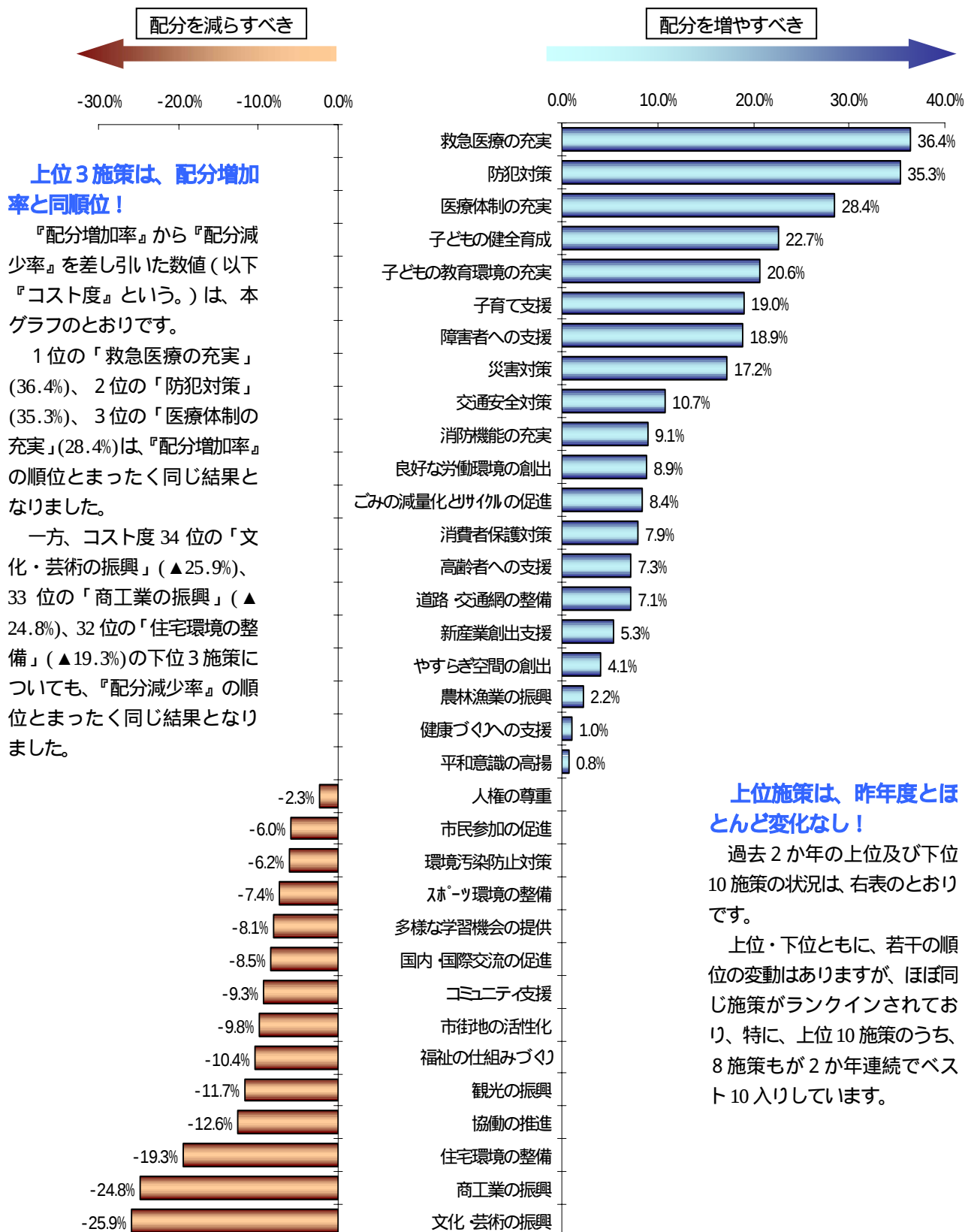
平成 18 年度			平成 19 年度		
順	施策名	値	順	施策名	値
25	医療体制の充実	2.1%	25	交通安全対策	2.8%
26	良好な労働環境の創出	1.9%	26	子どもの教育環境の充実	2.5%
27	交通安全対策	1.6%	27	消費者保護対策	2.3%
28	子どもの教育環境の充実	1.4%	27	医療体制の充実	2.3%
28	災害対策	1.4%	29	障害者への支援	2.2%
30	消防機能の充実	0.7%	30	子どもの健全育成	1.4%
31	環境汚染防止対策	0.5%	31	消防機能の充実	0.9%
32	子どもの健全育成	0.5%	32	防犯対策	0.9%
33	救急医療の充実	0.3%	33	災害対策	0.6%
34	防犯対策	0.2%	34	救急医療の充実	0.2%

太字は、2 か年とも下位 10 位の施策

小数点第 2 位を四捨五入しているため、同じ値でも順位が異なる場合がある。

(3) コスト度

全体の結果



上位3施策は、配分増加率と同順位！

『配分増加率』から『配分減少率』を差し引いた数値（以下『コスト度』という。）は、本グラフのとおりです。

1位の「救急医療の充実」（36.4%）、2位の「防犯対策」（35.3%）、3位の「医療体制の充実」（28.4%）は、『配分増加率』の順位とまったく同じ結果となりました。

一方、コスト度 34位の「文化・芸術の振興」（▲25.9%）、33位の「商工業の振興」（▲24.8%）、32位の「住宅環境の整備」（▲19.3%）の下位3施策についても、『配分減少率』の順位とまったく同じ結果となりました。

上位施策は、昨年度とほとんど変化なし！

過去2か年の上位及び下位10施策の状況は、右表のとおりです。

上位・下位ともに、若干の順位の変動はありますが、ほぼ同じ施策がランクインされており、特に、上位10施策のうち、8施策もが2か年連続でベスト10入りしています。

コスト度上位10 施策の推移

平成 18 年度			平成 19 年度		
順	施策名	値	順	施策名	値
1	救急医療の充実	29.4%	1	救急医療の充実	36.4%
2	防犯対策	27.8%	2	防犯対策	35.3%
3	子どもの健全育成	22.2%	3	医療体制の充実	28.4%
4	医療体制の充実	18.4%	4	子どもの健全育成	22.7%
5	子どもの教育環境の充実	16.5%	5	子どもの教育環境の充実	20.6%
6	子育て支援	15.4%	6	子育て支援	19.0%
7	環境汚染防止対策	14.7%	7	障害者への支援	18.9%
8	障害者への支援	12.8%	8	災害対策	17.2%
9	市街地の活性化	12.0%	9	交通安全対策	10.7%
10	災害対策	10.3%	10	消防機能の充実	9.1%

太字は、2 か年とも上位 10 位の施策

小数点第 2 位を四捨五入しているため、同じ値でも順位が異なる場合がある。

コスト度下位 10 施策の推移

平成 18 年度			平成 19 年度		
順	施策名	値	順	施策名	値
25	人権の尊重	-3.3%	25	多様な学習機会の提供	-8.1%
26	国内・国際交流の促進	-4.4%	26	国内・国際交流の促進	-8.5%
27	スポーツ環境の整備	-4.6%	27	コミュニティ支援	-9.3%
28	多様な学習機会の提供	-8.0%	28	市街地の活性化	-9.8%
29	観光の振興	-10.5%	29	福祉の仕組みづくり	-10.4%
30	市民参加の促進	-13.3%	30	観光の振興	-11.7%
31	商工業の振興	-13.9%	31	協働の推進	-12.6%
32	文化・芸術の振興	-14.9%	32	住宅環境の整備	-19.3%
33	健康づくりへの支援	-17.3%	33	商工業の振興	-24.8%
34	住宅環境の整備	-19.7%	34	文化・芸術の振興	-25.9%

太字は、2 か年とも下位 10 位の施策

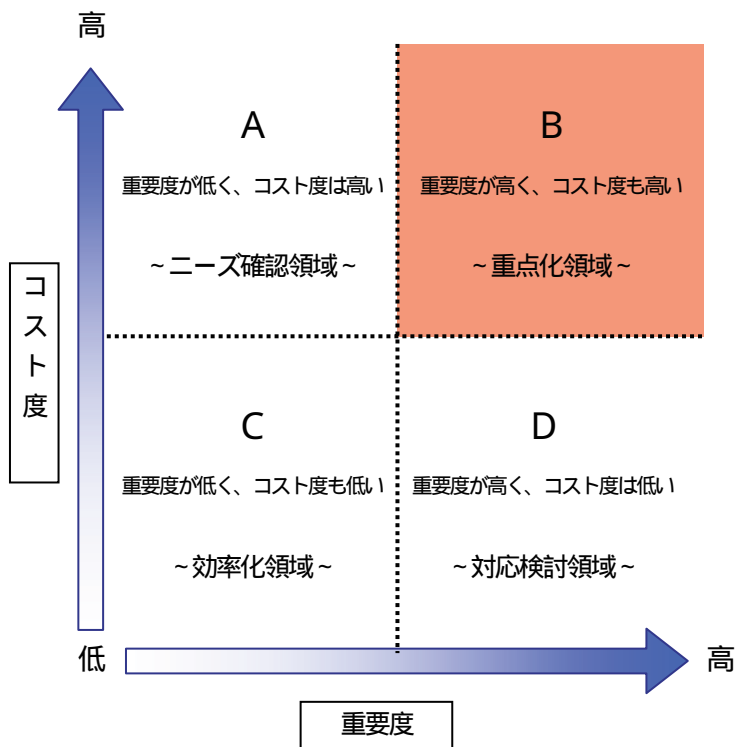
小数点第 2 位を四捨五入しているため、同じ値でも順位が異なる場合がある。

2 コスト度・重要度からみた施策の分析

(1) 岸和田市全体の重点施策の候補

『コスト度』と『重要度』について、それぞれの平均点を50とした偏差値に換算した上で、『重要度』を横軸、『コスト度』を縦軸にとり、それぞれの平均値(50)を交点としたグラフに各施策をプロットする形式で示して、各施策の分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることとします。

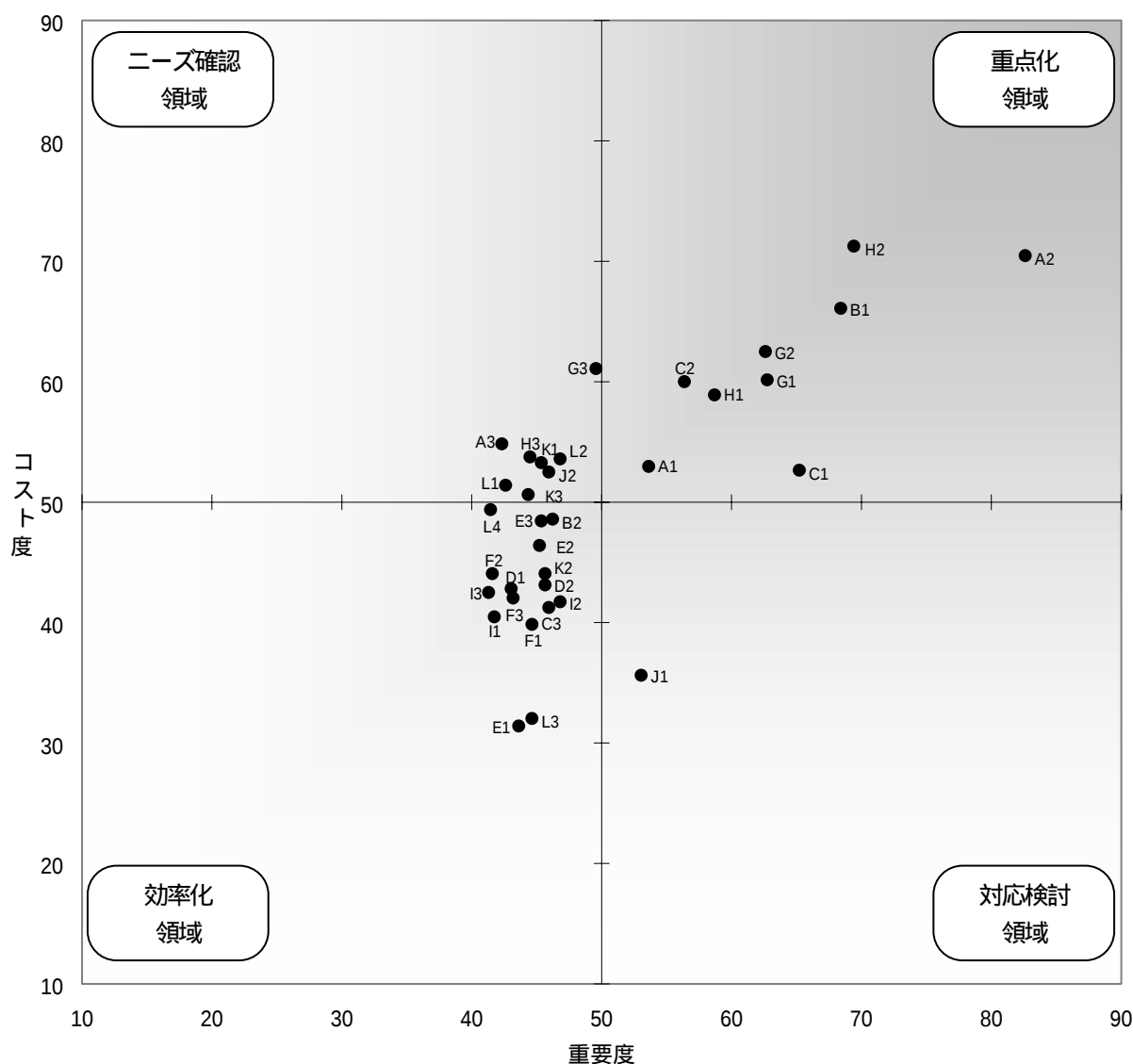
『重要度』が平均より高く、『コスト度』も平均より高い領域(下図の網掛け部分の領域)に位置した施策、つまり、市民が岸和田市のまちづくりにとって重要だと思っていて、税金をもっと投入してもいいと思っている傾向にある施策については、重点施策の候補とします。



■ 領域の説明

- ・領域A ニーズ確認領域
過度のサービスを求めている傾向にあり、市民ニーズの実態を確認すべき領域
- ・領域B 重点化領域
最優先で改善しなければならない重点化領域
- ・領域C 効率化領域
コストをかけすぎている傾向にあり、効率化を図るべき領域
- ・領域D 対応検討領域
市民にとって優先順位が低い傾向にあり、対応を検討すべき領域

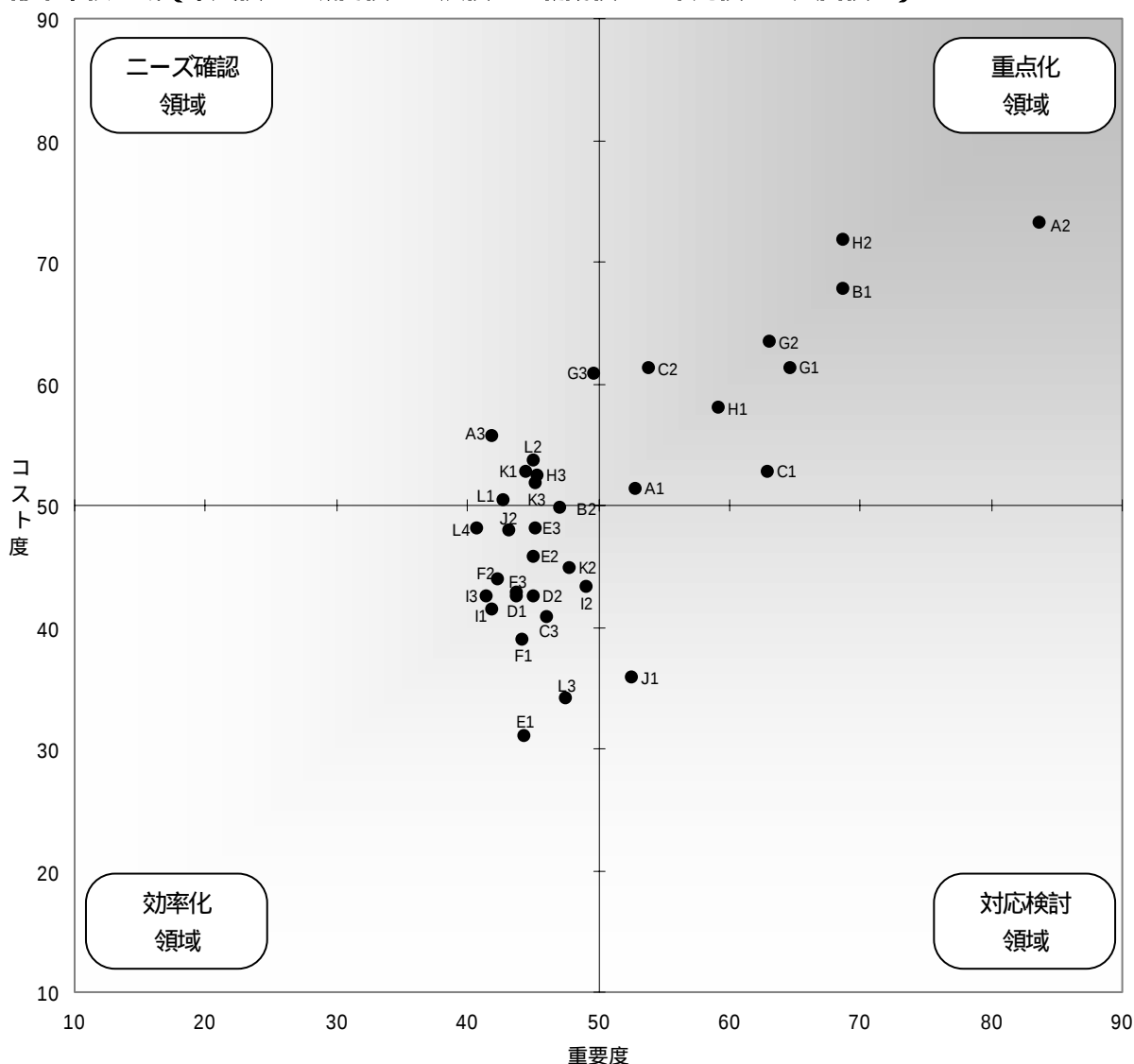
凡							
政策		施策		政策		施策	
地域の再生				地域の再生			
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策	E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
		A2	防犯対策			E2	人権の尊重
		A3	交通安全対策			E3	平和意識の高揚
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実	F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
		B2	健康づくりへの支援			F2	市民参加の促進
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援				
		C2	障害者への支援	G	子どもを育むまちづくり	G1	子育て支援
		C3	福祉の仕組みづくり			G2	子どもの健全育成
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供			G3	子どもの教育環境の充実
		D2	スポーツを楽しむ環境の整備				



例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

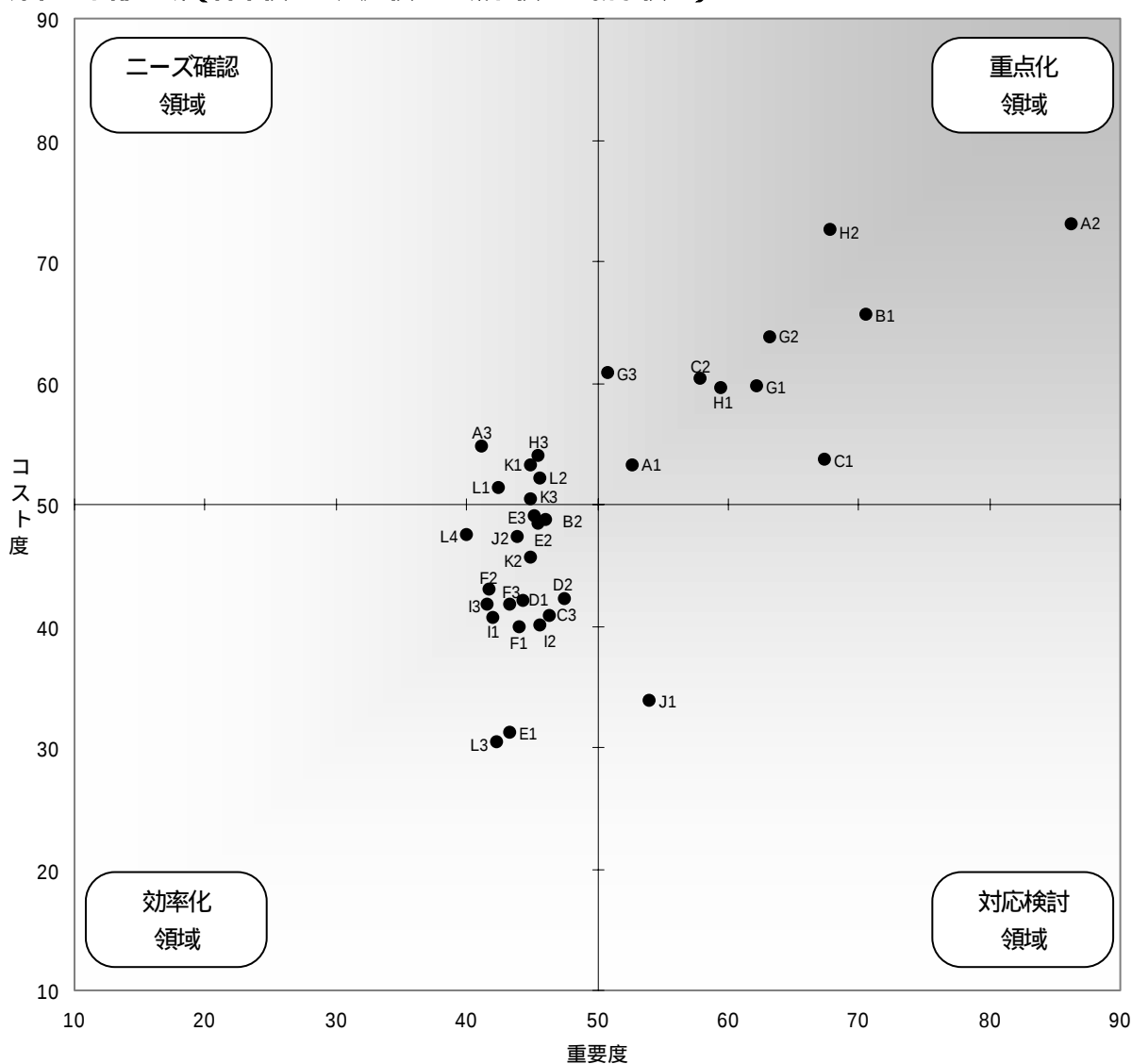
(2) 地域別のコスト度と重要度

都市中核地域（中央校区・城内校区・浜校区・朝陽校区・東光校区・大宮校区）



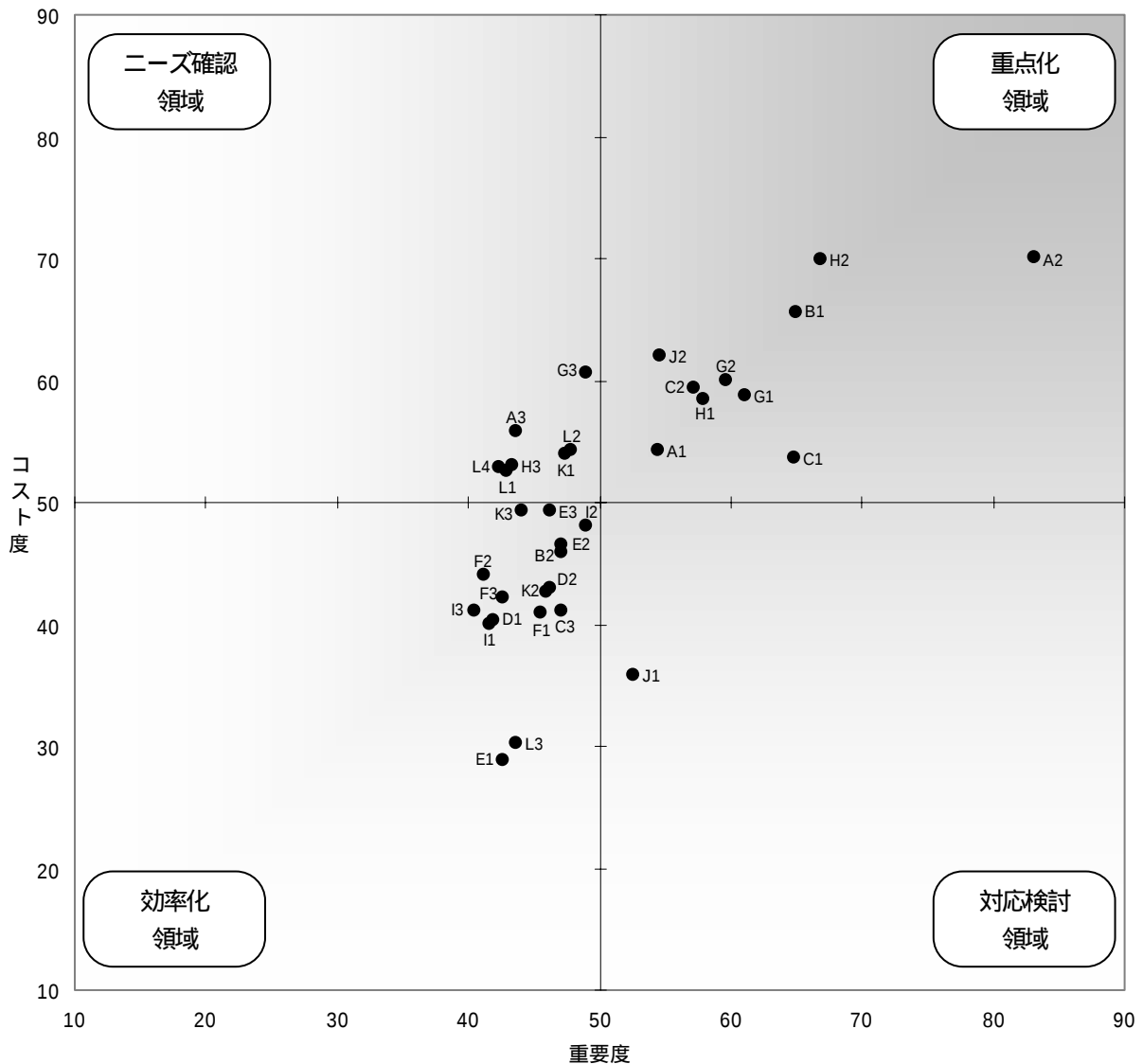
凡							
政策		施策		政策		施策	
地域の再生				地域の再生			
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策	E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
		A2	防犯対策			E2	人権の尊重
		A3	交通安全対策			E3	平和意識の高揚
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実	F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
		B2	健康づくりへの支援			F2	市民参加の促進
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援			G	子どもを育むまちづくり
		C2	障害者への支援	G1	子育て支援		
		C3	福祉の仕組みづくり	G2	子どもの健全育成		
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供	G3	子どもの教育環境の充実		
		D2	スポーツを楽しむ環境の整備				

岸和田北部地域（春木校区・大芝校区・城北校区・新条校区）



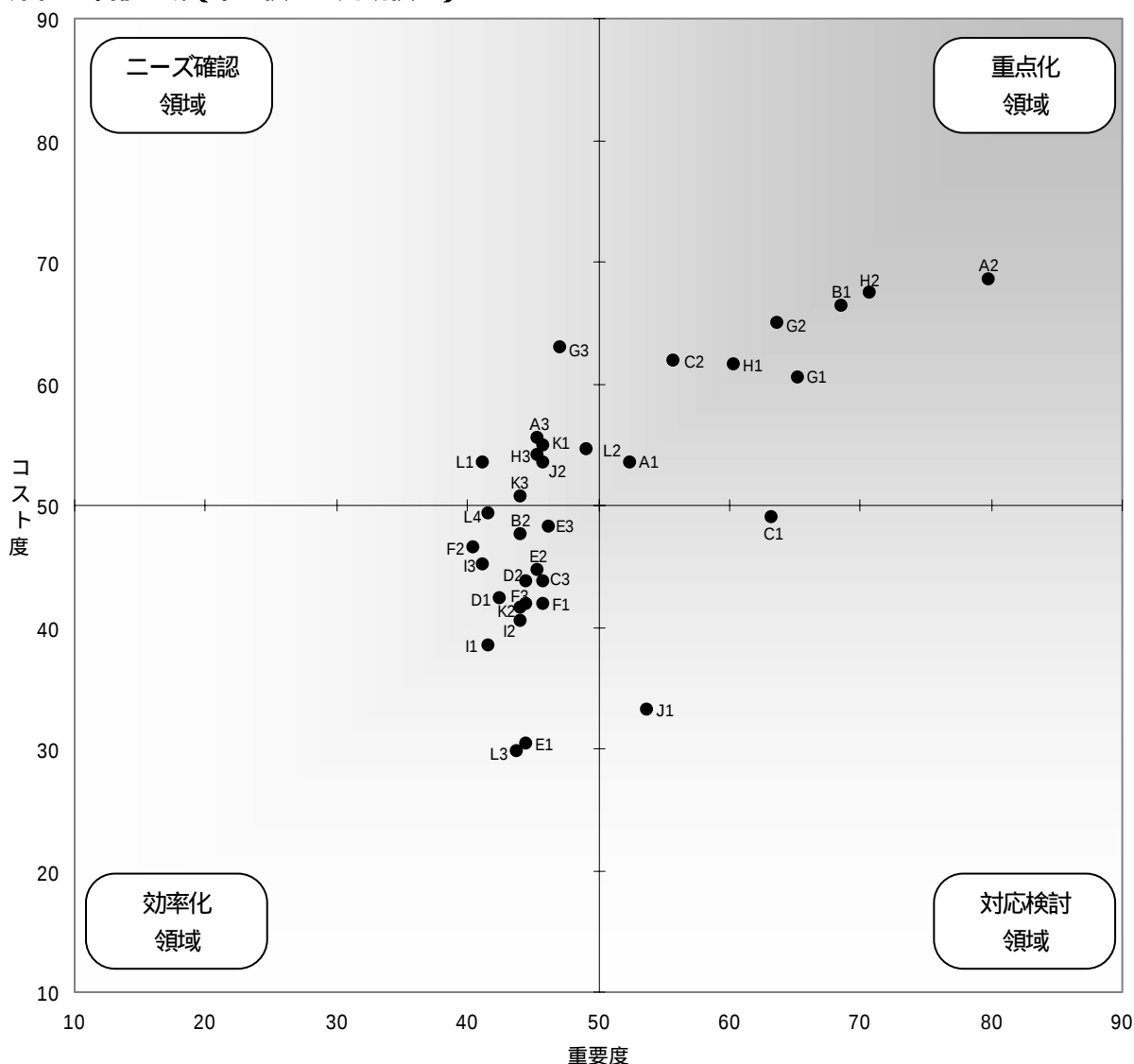
例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

葛城の谷地域（旭校区・太田校区・天神山校区・修斉校区・東葛城校区）



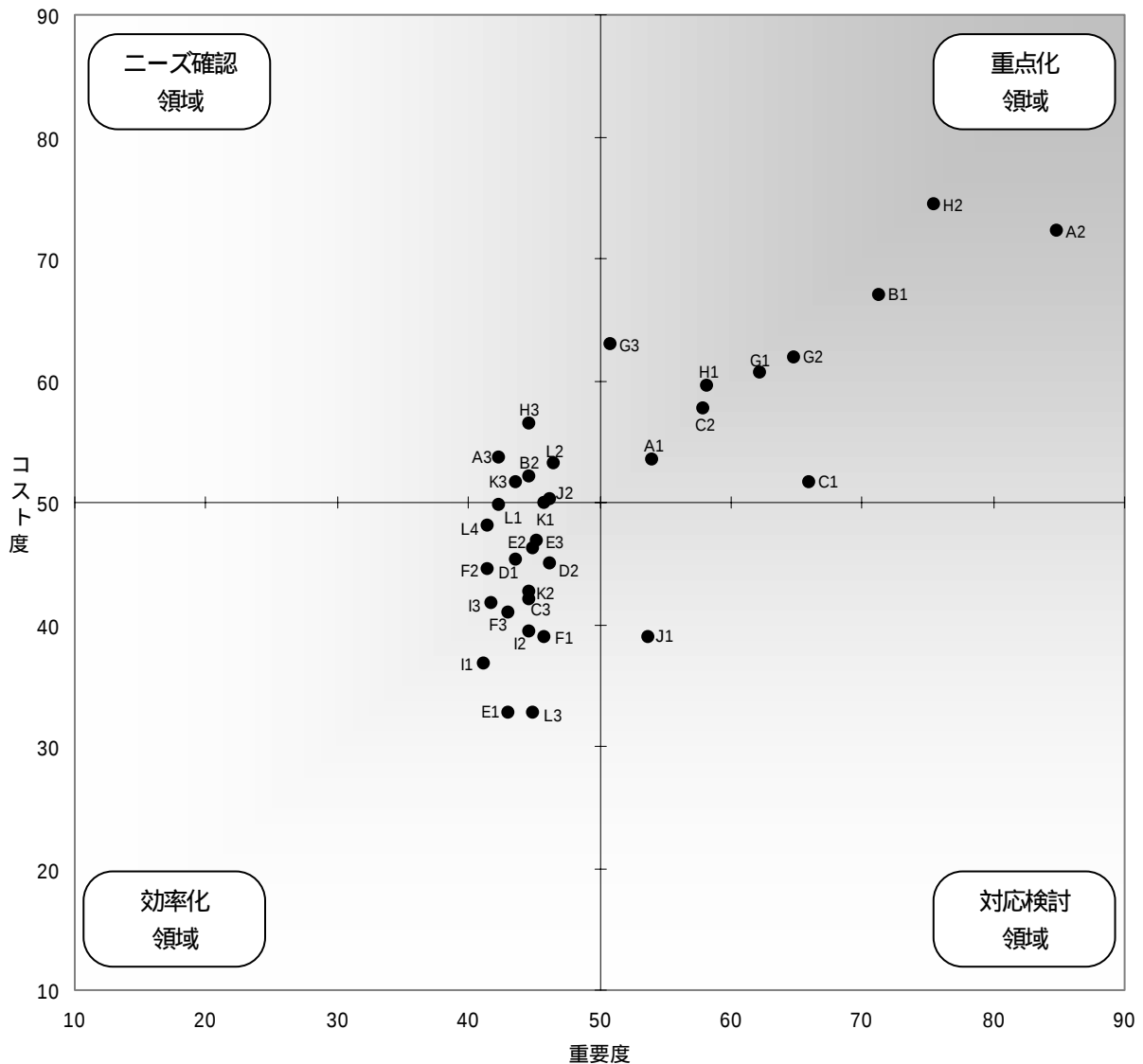
凡							
政策		施策		政策		施策	
地域の再生				地域の再生			
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策	E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
		A2	防犯対策			E2	人権の尊重
		A3	交通安全対策			E3	平和意識の高揚
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実	F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
		B2	健康づくりへの支援			F2	市民参加の促進
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援			F3	コミュニティ支援
		C2	障害者への支援	G1	子育て支援		
		C3	福祉の仕組みづくり	G2	子どもの健全育成		
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供	G	子どもを育むまちづくり	G3	子どもの教育環境の充実
		D2	スポーツを楽しむ環境の整備				

岸和田中部地域（常盤校区・光明校区）



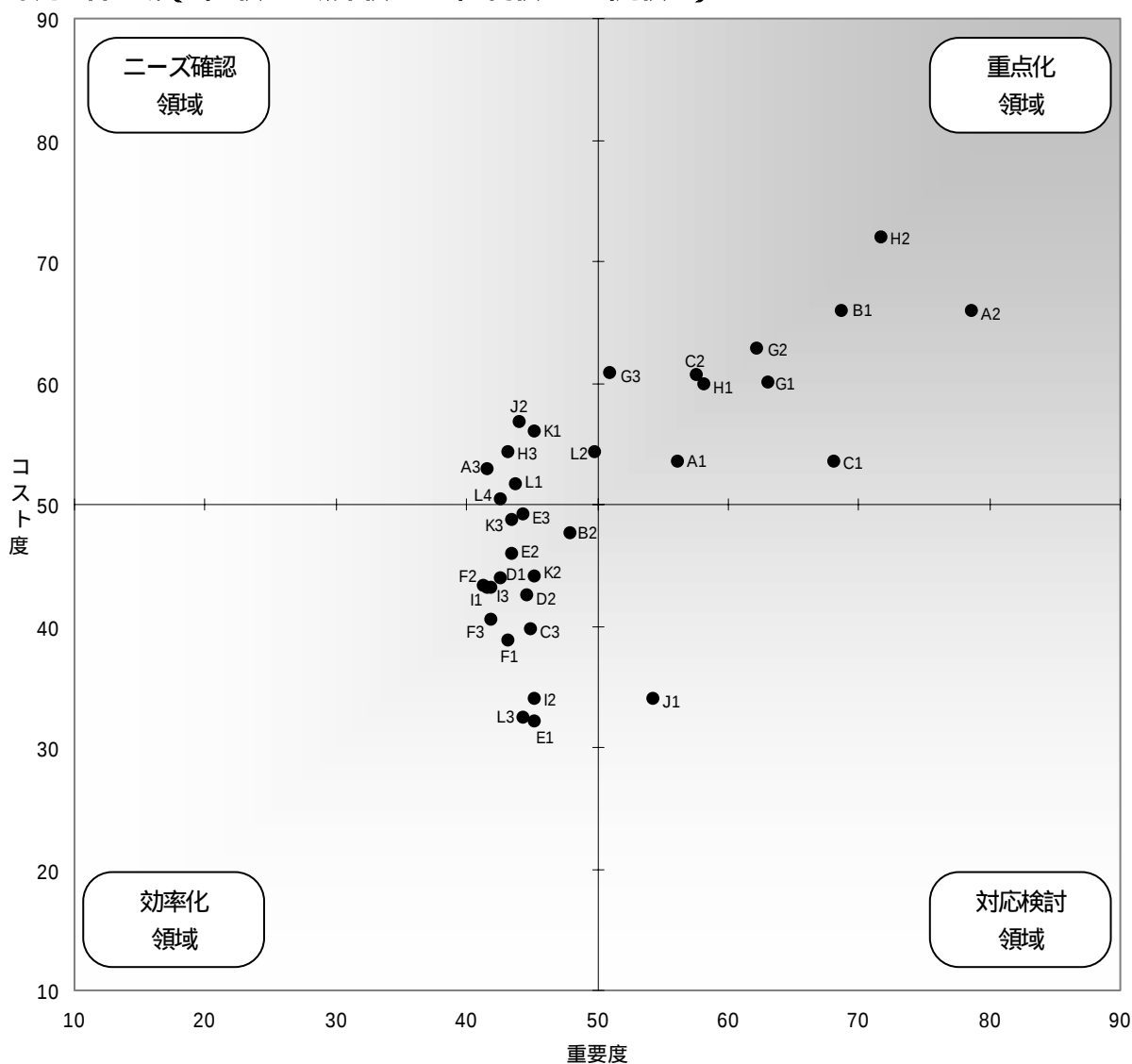
例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

久米田地域（八木北校区・八木校区・八木南校区）



凡			
政策	施策	政策	施策
地域の再生		地域の再生	
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策
			A2 防犯対策
			A3 交通安全対策
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実
			B2 健康づくりへの支援
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援
			C2 障害者への支援
			C3 福祉の仕組みづくり
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供
			D2 スポーツを楽しむ環境の整備
E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
			E2 人権の尊重
			E3 平和意識の高揚
F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
			F2 市民参加の促進
			F3 コミュニティ支援
G	子どもを育むまちづくり	G1	子育て支援
			G2 子どもの健全育成
			G3 子どもの教育環境の充実

牛滝の谷地域（山直校区・城東校区・山直南校区・山滝校区）



例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

施策体系			岸和田市全体		都市中核地域		岸和田北部地域		葛城の谷地域	
目標	政 策	施 策	H18	H19	H18	H19	H18	H19	H18	H19
地域の再生	安心して日常生活を送れるまちづくり	消費者保護対策	重	重	二	重	重	重	重	重
		防犯対策	重	重	重	重	重	重	重	重
		交通安全対策	二	二	二	二	二	二	二	二
	上手に年がとれるまちづくり	医療体制の充実	重	重	重	重	重	重	重	重
		健康づくりへの支援	効	効	効	効	効	効	効	効
	みんながともに支えあうまちづくり	高齢者への支援	対	重	対	重	重	重	対	重
		障害者への支援	重	重	重	重	重	重	重	重
		福祉の仕組みづくり	効	効	効	効	二	効	効	効
	みんなが活躍する場があるまちづくり	多様な学習機会の提供	効	効	効	効	効	効	効	効
		スポーツを楽しむ環境の整備	効	効	効	効	効	効	効	効
	豊かな心を育むまちづくり	文化 芸術の振興	効	効	効	効	効	効	効	効
		人権の尊重	効	効	効	効	効	効	効	効
		平和意識の高揚	効	効	効	効	効	効	効	効
	市民が主役のまちづくり	協働の推進	効	効	効	効	効	効	効	効
		市民参加の促進	効	効	効	効	効	効	効	効
		コミュニティ支援	効	効	効	効	効	効	効	効
	子どもを育むまちづくり	子育て支援	重	重	重	重	重	重	重	重
		子どもの健全育成	重	重	重	重	重	重	重	重
		子どもの教育環境の充実	二	二	二	二	重	重	二	二
都市の再生	緊急時の対策がとられているまちづくり	災害対策	重	重	重	重	重	重	重	重
		救急医療の充実	重	重	重	重	重	重	重	重
		消防機能の充実	二	二	二	二	二	二	二	二
	にぎわいのあるまちづくり	観光の振興	効	効	効	効	効	効	効	効
		市街地の活性化	二	効	重	効	二	効	二	効
		国内 国際交流	効	効	効	効	効	効	効	効
	快適な生活環境を守るまちづくり	住宅環境の整備	対	対	対	対	対	対	効	対
		道路 交通網の整備	二	二	二	効	二	効	重	重
自然の再生	心やすらぐ自然環境を守るまちづくり	ごみの減量化とリサイクルの促進	効	二	効	二	効	二	効	二
		環境汚染防止対策	二	効	二	効	二	効	二	効
		安らぎ空間の創出	二	二	二	二	二	二	二	効
産業の再生	経済活動が活発なまちづくり	新産業創出支援	二	二	二	二	効	二	二	二
		良好な労働環境の整備	二	二	二	二	二	二	二	二
		商工業の振興	効	効	効	効	効	効	効	効
		農林漁業の振興	効	効	効	効	効	効	効	二

二：ニーズ確認領域(領域A)、重：重点化領域(領域B)、効：効率化領域(領域C)、対：対応検討領域(領域D)

太字は、2か年とも同じ領域に位置付けられた施策

網掛けは、岸和田市全体で位置付けられた領域と異なるもの

岸和田中部地域		久米田地域		牛滝の谷地域	
H18	H19	H18	H19	H18	H19
重	重	重	重	対	重
重	重	重	重	重	重
二	二	二	二	二	二
重	重	重	重	重	重
効	効	効	二	効	効
対	対	重	重	重	重
重	重	重	重	重	重
二	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
重	重	重	重	重	重
重	重	重	重	重	重
重	二	二	重	二	重
重	重	重	重	重	重
重	重	重	重	重	重
二	二	効	二	二	二
効	効	効	効	効	効
二	効	二	効	二	効
効	効	効	効	効	効
対	対	対	対	対	対
二	二	二	二	二	二
二	二	効	二	効	二
二	効	二	二	二	効
効	二	二	二	二	効
効	二	二	効	二	二
効	二	二	二	重	二
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	二

(3) 政策別のコスト度と重要度

安心して日常生活を送れるまちづくり

ア) 防犯対策(■)

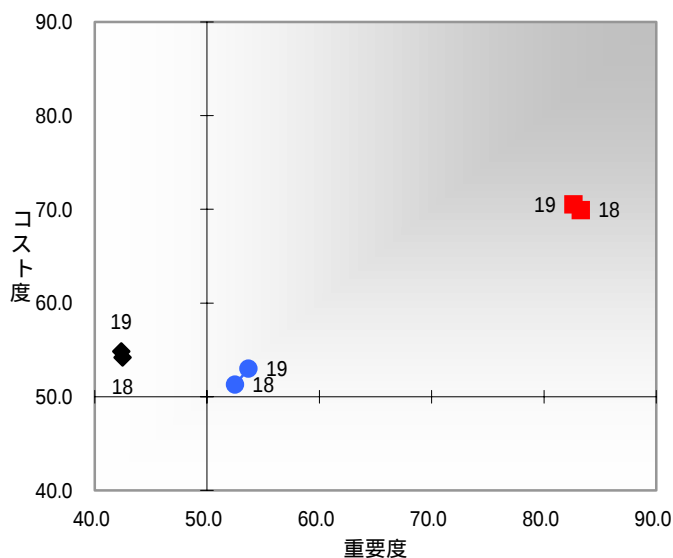
コスト度・重要度ともほぼ変化がありません。
2か年連続で『重点化領域』となりました。

イ) 消費者保護対策(●)

コスト度・重要度ともやや上昇しています。
2年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 交通安全対策()

コスト度・重要度ともほぼ変化がありません。
2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。



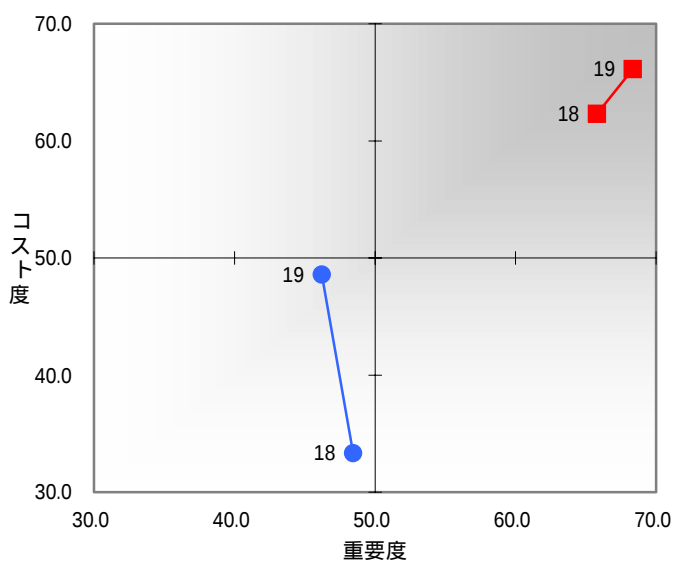
上手に年がとれるまちづくり

ア) 医療体制の充実(■)

コスト度・重要度ともやや上昇しています。
2か年連続で『重点化領域』となりました。

イ) 健康づくりへの支援(●)

コスト度は上昇、重要度はやや低下しています。
2か年連続で『効率化領域』となりました。



みんながともに支えあうまちづくり

ア) 福祉の仕組みづくり(■)

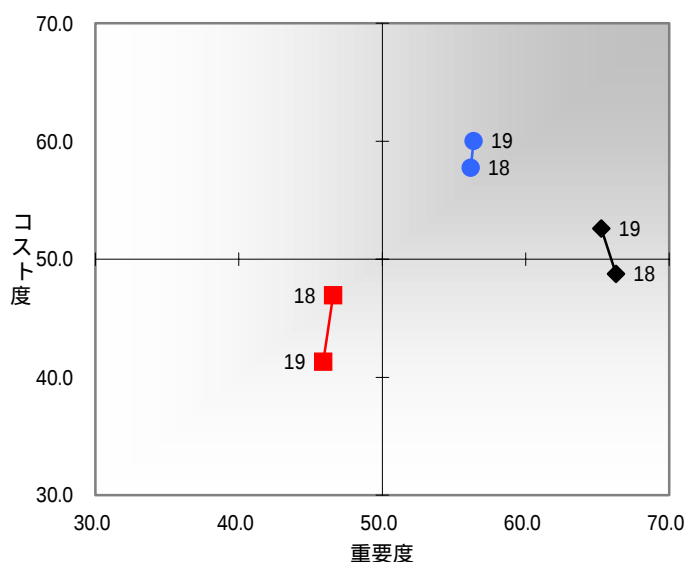
コスト度は低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。
2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 障害者への支援(●)

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。
2か年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 高齢者への支援()

コスト度はやや上昇、重要度はやや低下しています。
『対応検討領域』から『重点化領域』に変わりました。

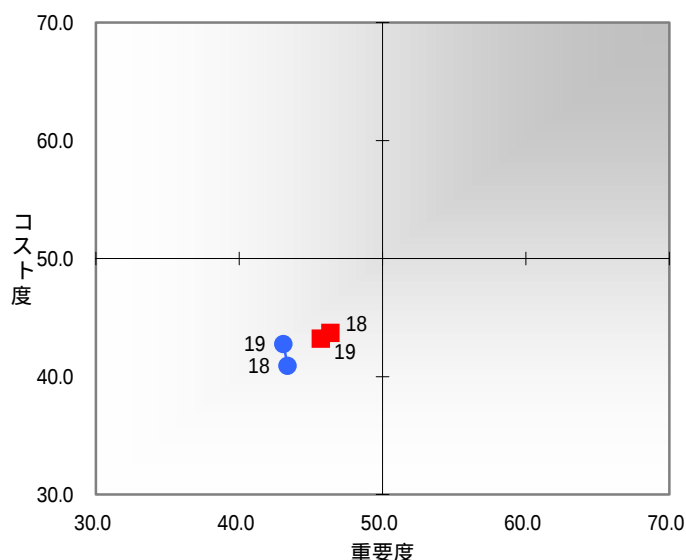


みんなが活躍する場があるまちづくり**ア) スポーツを楽しむ環境の整備(■)**

コスト度・重要度ともほぼ横ばいです。2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 多様な学習機会の提供(●)

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

**豊かな心を育むまちづくり****ア) 平和意識の高揚(■)**

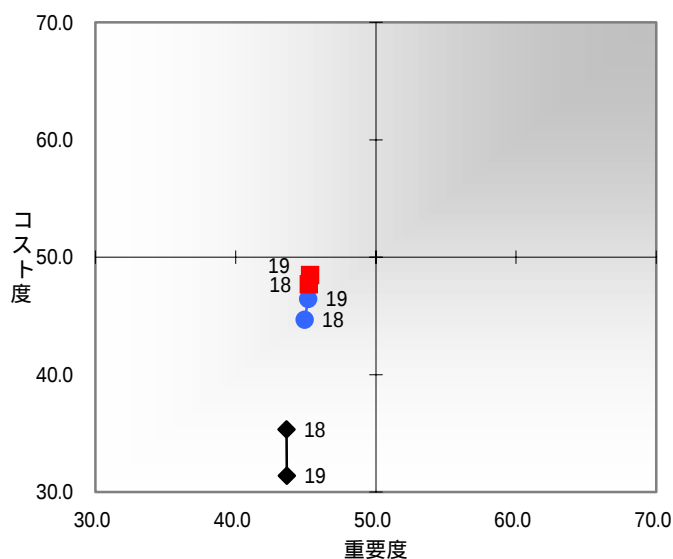
コスト度・重要度ともほぼ横ばいです。2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 人権の尊重(●)

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

ウ) 文化・芸術の振興()

コスト度はやや低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

**市民が主役のまちづくり****ア) コミュニティ支援(■)**

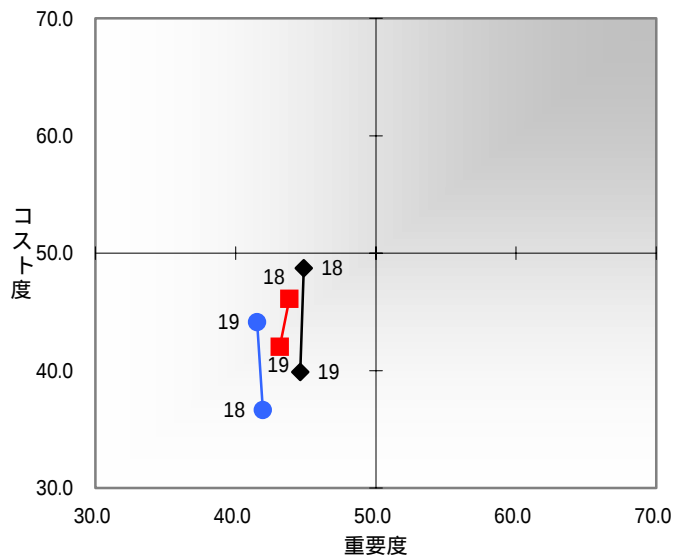
コスト度はやや低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 市民参加の促進(●)

コスト度は上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

ウ) 協働の推進()

コスト度は低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。



子どもを育むまちづくり

ア) 子どもの教育環境の充実(■)

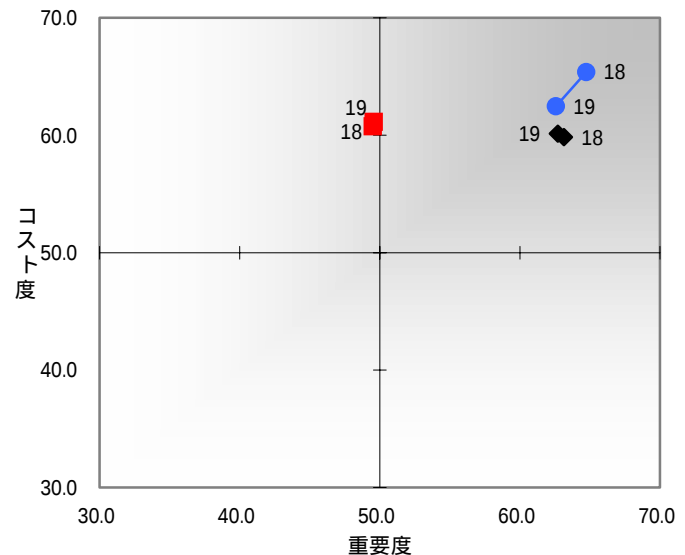
コスト度・重要度ともほぼ横ばいです。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

イ) 子どもの健全育成(●)

コスト度・重要度ともやや低下しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 子育て支援()

コスト度・重要度ともほぼ変化がありません。2か年連続で『重点化領域』となりました。



緊急時の対策がとられているまちづくり

ア) 消防機能の充実(■)

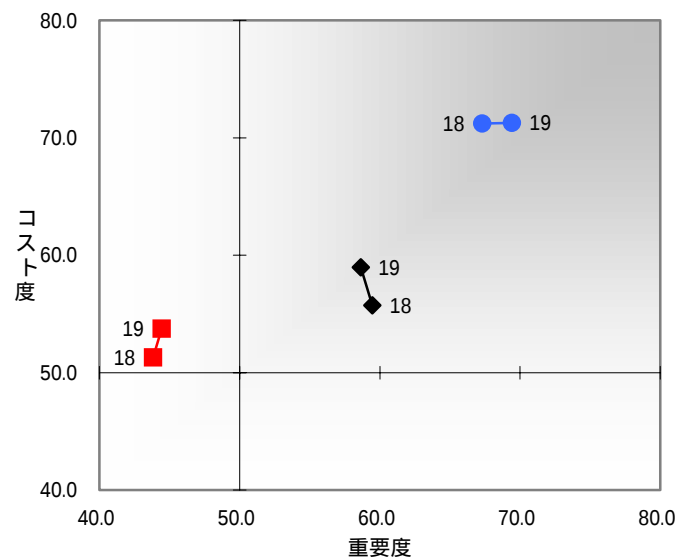
コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

イ) 救急医療の充実(●)

コスト度はほぼ横ばい、重要度はやや上昇しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 災害対策()

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『重点化領域』となりました。



にぎわいのあるまちづくり

ア) 国内・国際交流の促進(■)

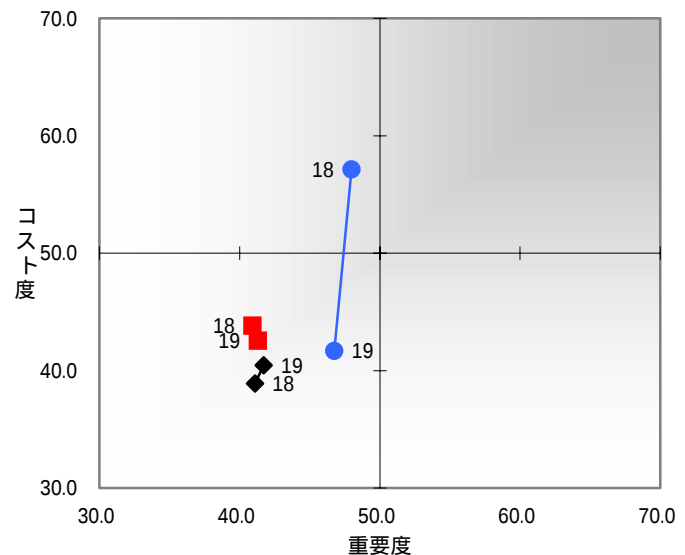
コスト度はやや低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 市街地の活性化(●)

コスト度は低下、重要度はやや低下しています。『ニーズ確認領域』から『効率化領域』に変わりました。

ウ) 観光の振興()

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。



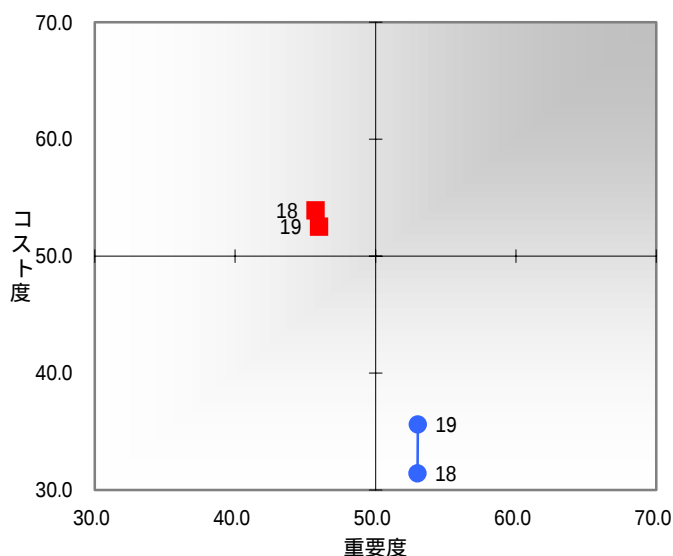
快適な生活環境を守るまちづくり

ア) 道路・交通網の整備(■)

コスト度はやや低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

イ) 住宅環境の整備(●)

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。



心やすく自然環境を守るまちづくり

ア) 環境汚染防止対策(■)

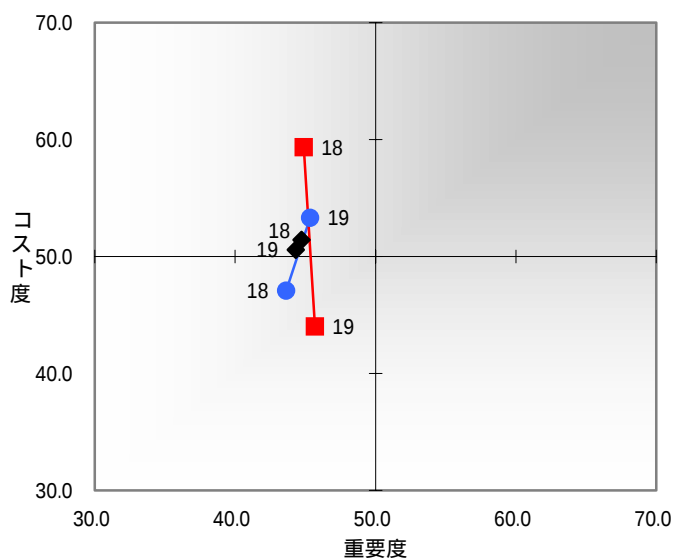
コスト度は低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。『ニーズ確認領域』から『効率化領域』に変わりました。

イ) ごみの減量化とリサイクルの促進(●)

コスト度は上昇、重要度もやや上昇しています。『効率化領域』から『ニーズ確認領域』に変わりました。

ウ) やすらぎ空間の創出(○)

コスト度・重要度ともほぼ変化がありません。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。



経済活動が活発なまちづくり

ア) 良好な労働環境の整備(■)

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

イ) 新産業創出支援(●)

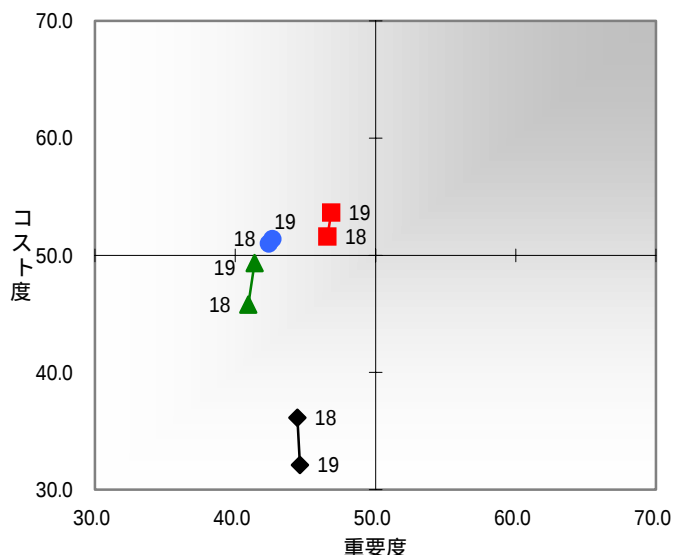
コスト度・重要度ともほぼ変化がありません。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

ウ) 商工業の振興(○)

コスト度はやや低下、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

エ) 農林漁業の振興(▲)

コスト度はやや上昇、重要度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

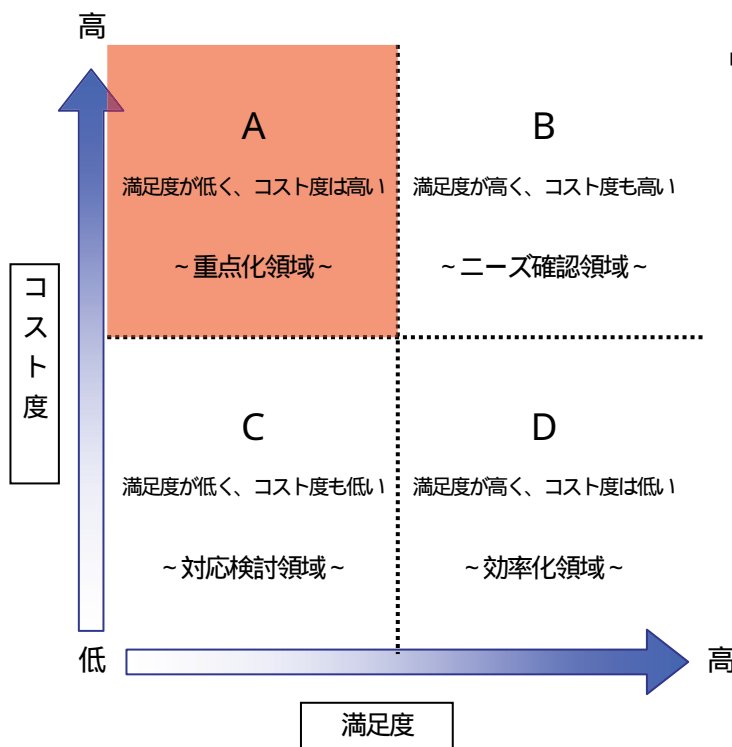


3 コスト度・満足度からみた重点施策の候補

(1) 岸和田市全体の重点施策の候補

『コスト度』と『満足度』について、それぞれの平均点を50とした偏差値に換算した上で、『満足度』を横軸、『コスト度』を縦軸にとり、それぞれの平均値(50)を交点としたグラフに各施策をプロットする形式で示して、各施策の分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることにします。

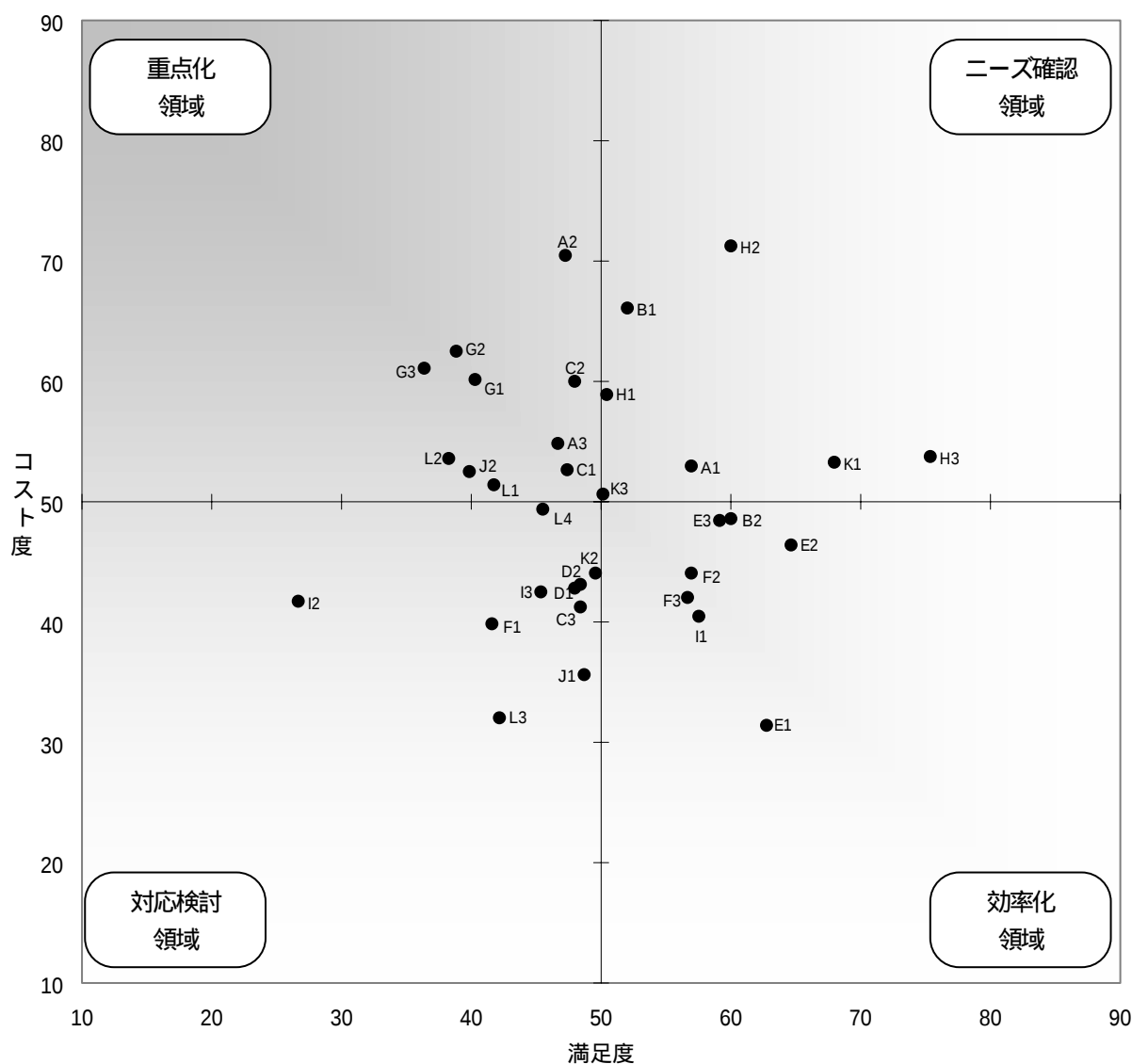
『満足度』が平均より低く、『コスト度』は平均より高い領域(下図の網掛け部分の領域)に位置した施策、つまり、市民が岸和田市の取組に満足しておらず、税金をもっと投入してもいいと思っている傾向にある施策については、重点施策の候補とします。



■ 領域の説明

- ・領域A 重点化領域
最優先で改善しなければならない重点化領域
- ・領域B ニーズ確認領域
際限のないニーズを追及している傾向にあり、市民ニーズの実態を確認すべき領域
- ・領域C 対応検討領域
市民にとって優先順位が低い傾向にあり、対応を検討すべき領域
- ・領域D 効率化領域
満足度を維持しつつ、効率化を図るべき領域

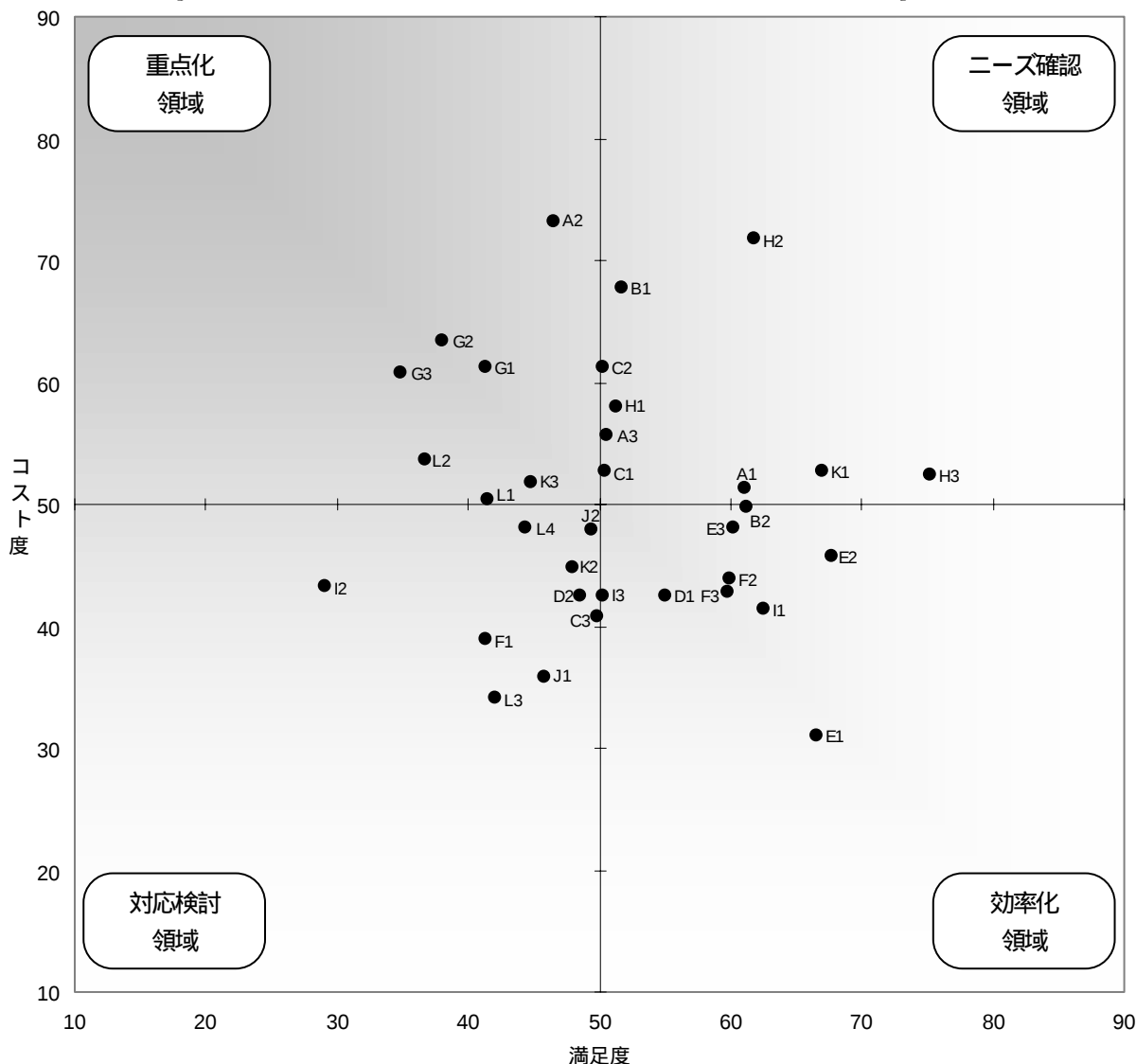
凡			
政策		施策	
地域の再生		地域の再生	
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策
		A2	防犯対策
		A3	交通安全対策
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実
		B2	健康づくりへの支援
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援
		C2	障害者への支援
		C3	福祉の仕組みづくり
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供
		D2	スポーツを楽しむ環境の整備
E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
		E2	人権の尊重
		E3	平和意識の高揚
F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
		F2	市民参加の促進
		F3	コミュニティ支援
G	子どもを育むまちづくり	G1	子育て支援
		G2	子どもの健全育成
		G3	子どもの教育環境の充実



例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

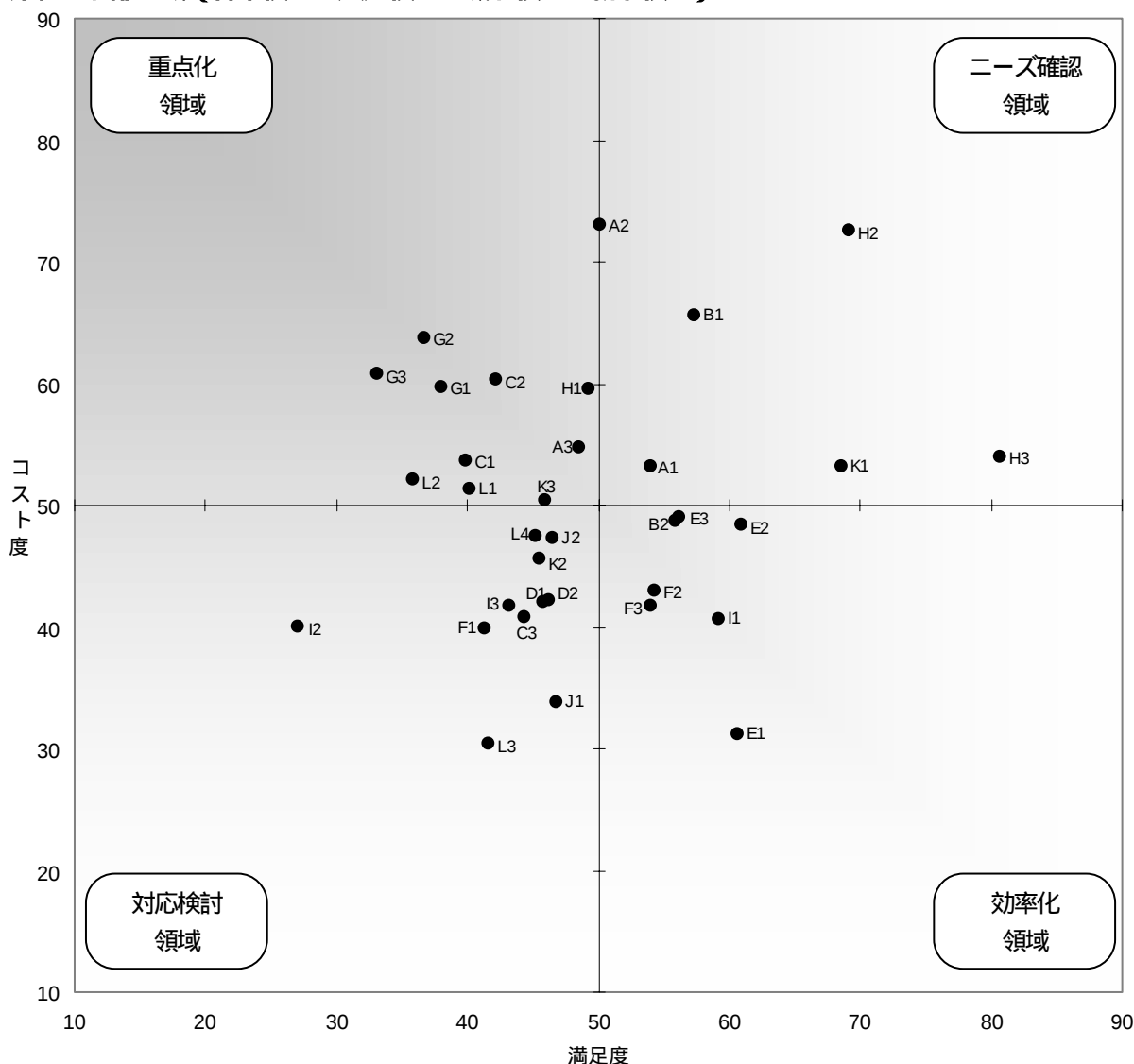
(2) 地域別のコスト度と満足度

都市中核地域（中央校区・城内校区・浜校区・朝陽校区・東光校区・大宮校区）



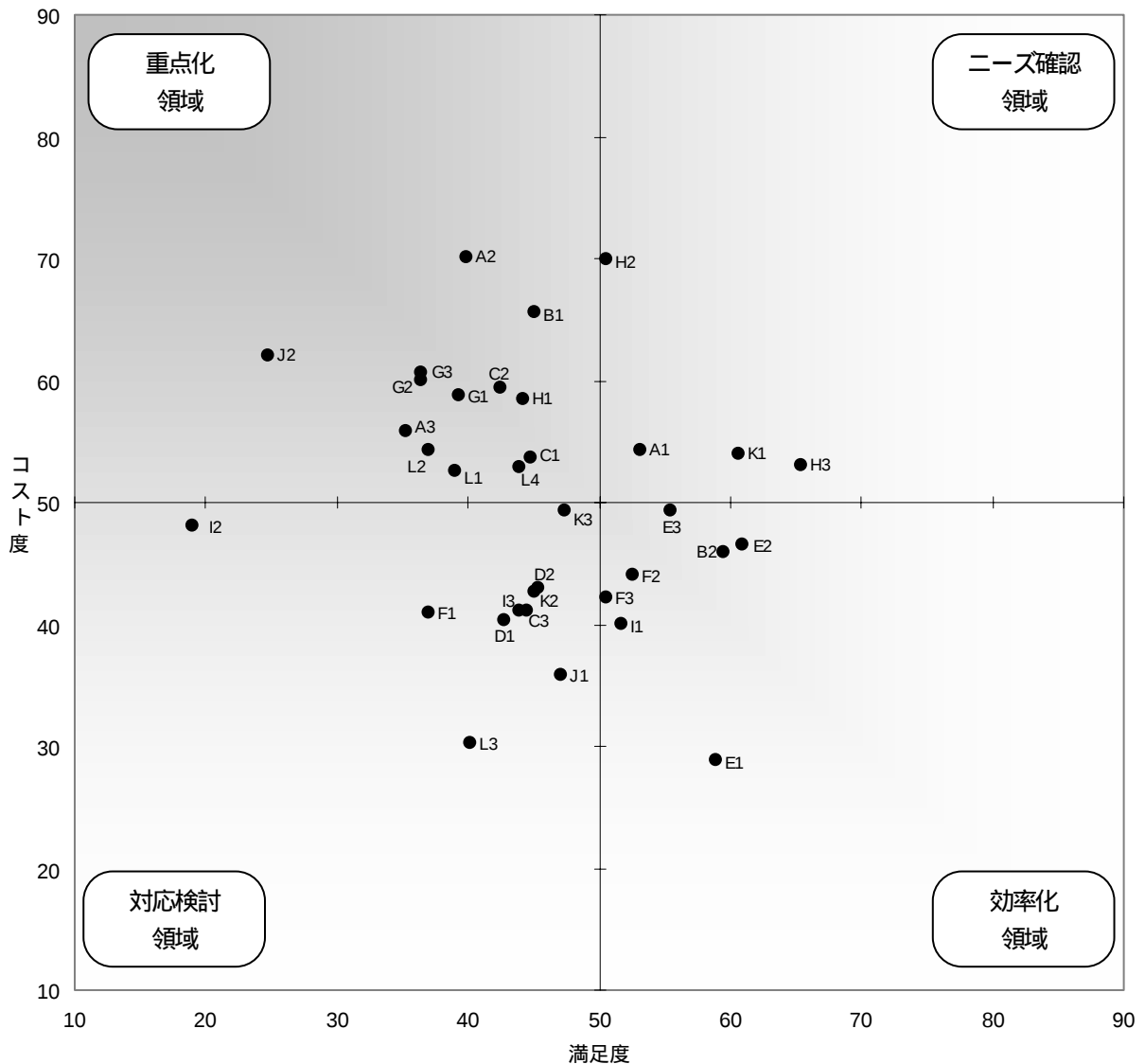
凡			
政策	施策	政策	施策
地域の再生		地域の再生	
A 安心して日常生活を送れるまちづくり	A1 消費者保護対策	E 豊かな心を育むまちづくり	E1 文化・芸術の振興
	A2 防犯対策		E2 人権の尊重
	A3 交通安全対策		E3 平和意識の高揚
B 上手に年がとれるまちづくり	B1 医療体制の充実	F 市民が主役のまちづくり	F1 協働の推進
	B2 健康づくりへの支援		F2 市民参加の促進
C みんながともに支えあうまちづくり	C1 高齢者への支援		F3 コミュニティ支援
	C2 障害者への支援	G 子どもを育むまちづくり	G1 子育て支援
	C3 福祉の仕組みづくり		G2 子どもの健全育成
D みんなが活躍する場があるまちづくり	D1 多様な学習機会の提供		G3 子どもの教育環境の充実
	D2 スポーツを楽しむ環境の整備		

岸和田北部地域（春木校区・大芝校区・城北校区・新条校区）



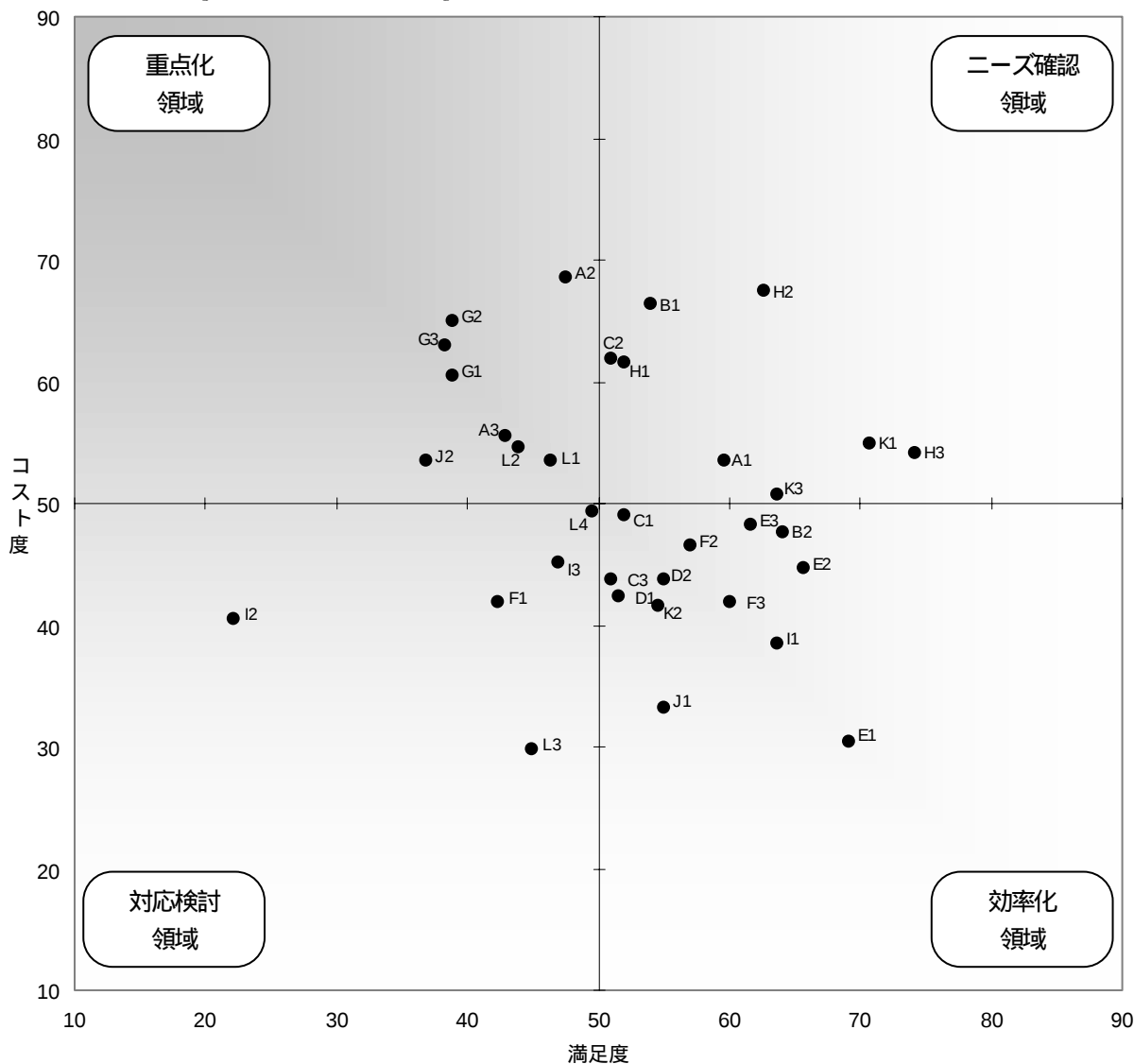
例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

葛城の谷地域（旭校区・太田校区・天神山校区・修斉校区・東葛城校区）



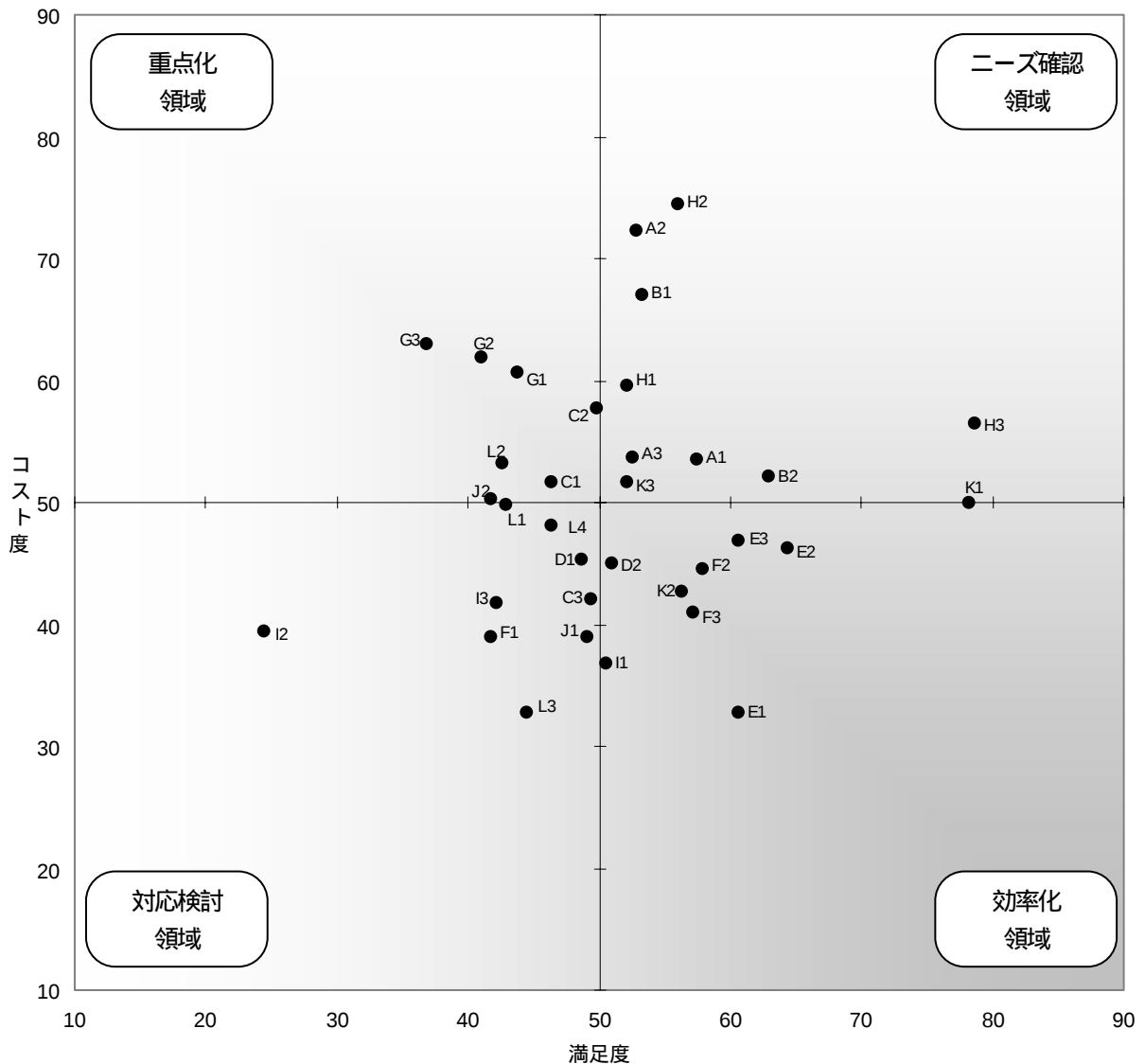
凡							
政策		施策		政策		施策	
地域の再生				地域の再生			
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策	E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
		A2	防犯対策			E2	人権の尊重
		A3	交通安全対策			E3	平和意識の高揚
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実	F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
		B2	健康づくりへの支援			F2	市民参加の促進
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援			F3	コミュニティ支援
		C2	障害者への支援	G1	子育て支援		
		C3	福祉の仕組みづくり	G2	子どもの健全育成		
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供	G	子どもを育むまちづくり	G3	子どもの教育環境の充実
		D2	スポーツを楽しむ環境の整備				

岸和田中部地域（常盤校区・光明校区）



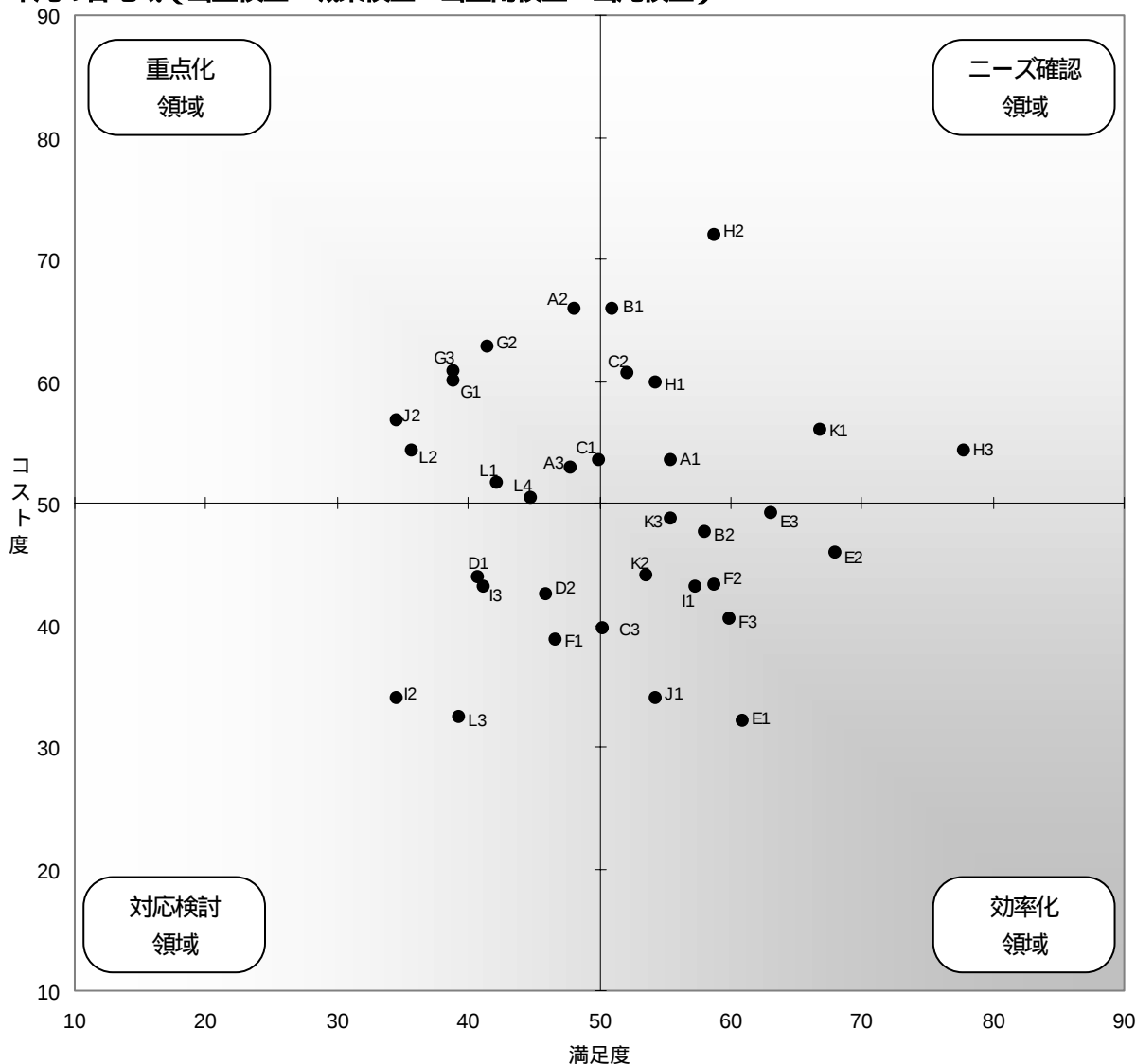
例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

久米田地域（八木北校区・八木校区・八木南校区）



凡							
政策		施策		政策		施策	
地域の再生				地域の再生			
A	安心して日常生活を送れるまちづくり	A1	消費者保護対策	E	豊かな心を育むまちづくり	E1	文化・芸術の振興
		A2	防犯対策			E2	人権の尊重
		A3	交通安全対策			E3	平和意識の高揚
B	上手に年がとれるまちづくり	B1	医療体制の充実	F	市民が主役のまちづくり	F1	協働の推進
		B2	健康づくりへの支援			F2	市民参加の促進
C	みんながともに支えあうまちづくり	C1	高齢者への支援			F3	コミュニティ支援
		C2	障害者への支援	G1	子育て支援		
		C3	福祉の仕組みづくり	G2	子どもの健全育成		
D	みんなが活躍する場があるまちづくり	D1	多様な学習機会の提供	G	子どもを育むまちづくり	G3	子どもの教育環境の充実
		D2	スポーツを楽しむ環境の整備				

牛滝の谷地域（山直校区・城東校区・山直南校区・山滝校区）



例							
政策		施策		政策		施策	
都市の再生				自然の再生			
H	緊急時の対策がとられているまちづくり	H1	災害対策	K	心安らく自然環境を守るまちづくり	K1	ごみの減量化とリサイクルの促進
		H2	救急医療の充実			K2	環境汚染防止対策
		H3	消防機能の充実			K3	安らぎ空間の創出
I	にぎわいのあるまちづくり	I1	観光の振興	産業の再生			
		I2	市街地の活性化	L	経済活動が活発なまちづくり	L1	新産業創出支援
		I3	国内・国際交流の促進			L2	良好な労働環境の整備
J	快適な生活環境を守るまちづくり	J1	住宅環境の整備	L3		商工業の振興	
		J2	道路・交通網の整備	L4		農林漁業の振興	

施策体系			岸和田市全体		都市中核地域		岸和田北部地域		葛城の谷地域	
目標	政 策	施 策	H18	H19	H18	H19	H18	H19	H18	H19
地域の再生	安心して日常生活を送れるまちづくり	消費者保護対策	二	二	二	二	二	二	二	二
		防犯対策	重	重	重	重	重	二	重	重
		交通安全対策	重	重	重	二	重	重	重	重
	上手に年がとれるまちづくり	医療体制の充実	二	二	二	二	二	二	二	重
		健康づくりへの支援	効	効	効	効	効	効	効	効
	みんながともに支えあふまちづくり	高齢者への支援	対	重	対	二	重	重	対	重
		障害者への支援	重	重	二	二	重	重	重	重
		福祉の仕組みづくり	対	対	効	対	重	対	対	対
	みんなが活躍する場があるまちづくり	多様な学習機会の提供	対	対	対	効	効	対	対	対
		スポーツを楽しむ環境の整備	対	対	対	対	対	対	対	対
	豊かな心を育むまちづくり	文化 芸術の振興	効	効	効	効	効	効	効	効
		人権の尊重	効	効	効	効	効	効	効	効
		平和意識の高揚	効	効	効	効	効	効	効	効
	市民が主役のまちづくり	協働の推進	対	対	対	対	対	対	対	対
		市民参加の促進	効	効	効	効	効	効	効	効
		コミュニティ支援	効	効	効	効	効	効	効	効
	子どもを育むまちづくり	子育て支援	重	重	重	重	重	重	重	重
		子どもの健全育成	重	重	重	重	重	重	重	重
		子どもの教育環境の充実	重	重	重	重	重	重	重	重
都市の再生	緊急時の対策がとられているまちづくり	災害対策	重	二	重	二	重	重	重	重
		救急医療の充実	二	二	二	二	二	二	二	二
		消防機能の充実	二	二	二	二	二	二	二	二
	にぎわいのあるまちづくり	観光の振興	効	効	効	効	効	効	効	効
		市街地の活性化	重	対	重	対	重	対	重	対
		国内 国際交流	対	対	対	効	対	対	対	対
	快適な生活環境を守るまちづくり	住宅環境の整備	対	対	対	対	対	対	効	対
		道路 交通網の整備	重	重	二	対	重	対	重	重
自然の再生	心やすらぐ自然環境を守るまちづくり	ごみの減量化とリサイクルの促進	効	二	効	二	効	二	効	二
		環境汚染防止対策	二	対	重	対	重	対	二	対
		安らぎ空間の創出	二	二	二	重	重	重	重	対
産業の再生	経済活動が活発なまちづくり	新産業創出支援	重	重	重	重	対	重	重	重
		良好な労働環境の整備	重	重	重	重	重	重	重	重
		商工業の振興	対	対	対	対	対	対	対	対
		農林漁業の振興	対	対	対	対	対	対	対	重

重：重点化領域(領域A)、二：ニーズ確認領域(領域B)、対：対応検討領域(領域C)、効：効率化領域(領域D)

太字は、2か年とも同じ領域に位置付けられた施策

網掛けは、岸和田市全体で位置付けられた領域と異なるもの

岸和田中部地域		久米田地域		牛滝の谷地域	
H18	H19	H18	H19	H18	H19
二	二	二	二	効	二
重	重	重	二	重	重
重	重	重	二	重	重
重	二	二	二	二	二
効	効	効	二	効	効
効	効	重	重	重	重
重	二	重	重	二	二
重	効	対	対	対	効
対	効	対	対	対	対
対	効	対	効	対	対
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
対	対	対	対	対	対
効	効	効	効	効	効
効	効	効	効	効	効
重	重	重	重	重	重
重	重	重	重	重	重
重	重	重	重	重	重
重	二	重	二	二	二
二	二	二	二	二	二
二	二	効	二	二	二
効	効	効	効	効	効
重	対	重	対	重	対
対	対	効	対	対	対
効	効	対	対	効	効
重	重	重	重	重	重
二	二	効	二	効	二
重	効	二	効	二	効
効	二	二	二	二	効
対	重	重	対	重	重
対	重	重	重	重	重
対	対	対	対	対	対
対	対	対	対	対	重

(3) 政策別のコスト度と満足度

安心して日常生活を送れるまちづくり

ア) 防犯対策(■)

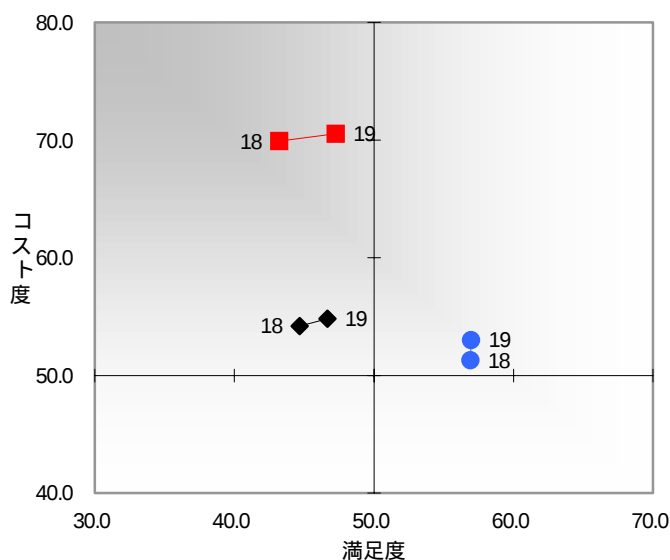
コスト度はほぼ横ばい、満足度はやや上昇しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

イ) 消費者保護対策(●)

コスト度はやや上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

ウ) 交通安全対策()

コスト度はほぼ横ばい、満足度はやや上昇しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。



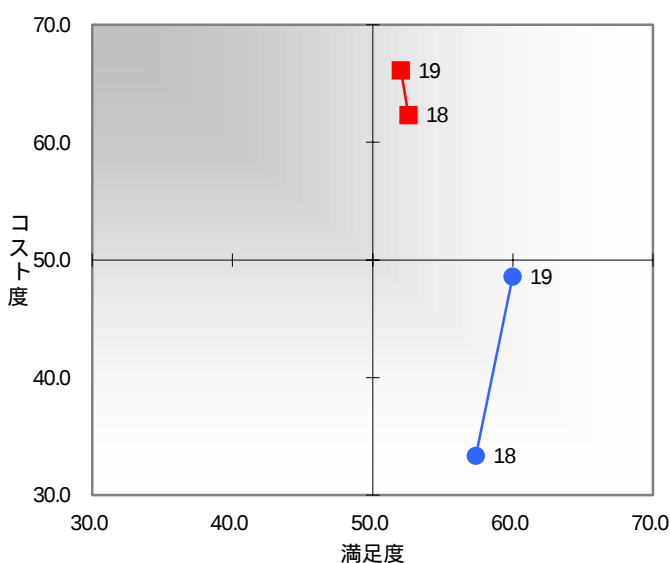
上手に年がとれるまちづくり

ア) 医療体制の充実(■)

コスト度はやや上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

イ) 健康づくりへの支援(●)

コスト度は上昇、満足度もやや上昇しています。2か年連続で『効率化領域』となりました。



みんながともに支えあうまちづくり

ア) 福祉の仕組みづくり(■)

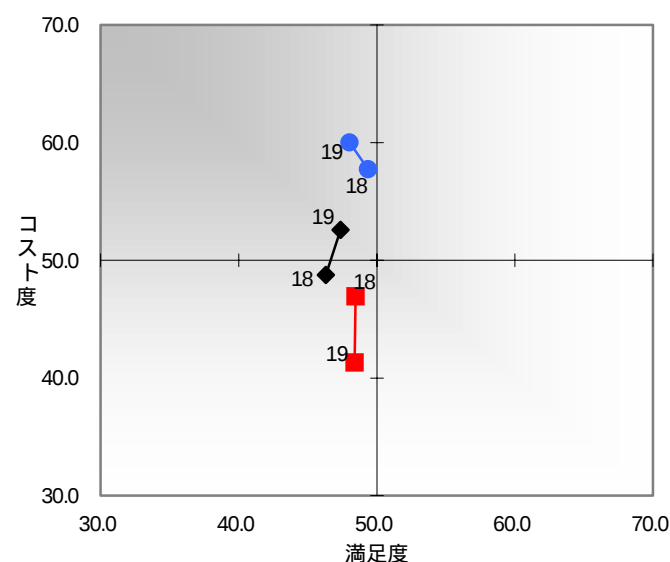
コスト度は低下、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。

イ) 障害者への支援(●)

コスト度はやや上昇、満足度はやや低下しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 高齢者への支援()

コスト度・満足度ともやや上昇しています。『対応検討領域』から『重点化領域』に変わりました。



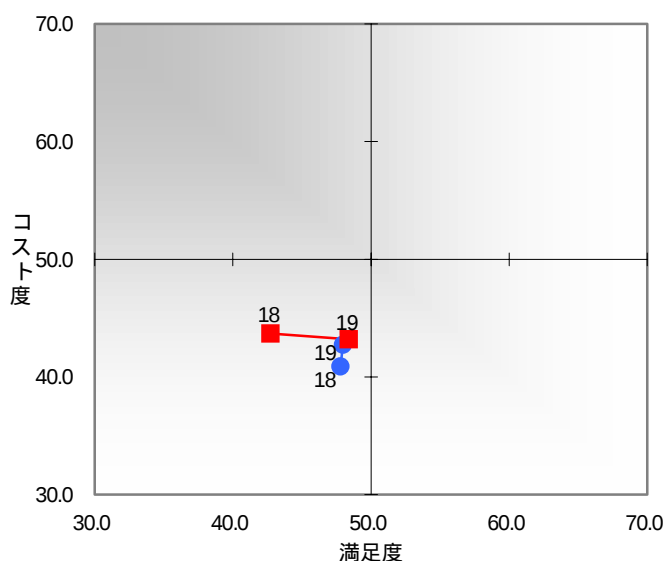
みんなが活躍する場があるまちづくり

ア) スポーツを楽しむ環境の整備(■)

コスト度はほぼ横ばい、満足度は上昇しています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。

イ) 多様な学習機会の提供(●)

コスト度はやや上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。



豊かな心を育むまちづくり

ア) 平和意識の高揚(■)

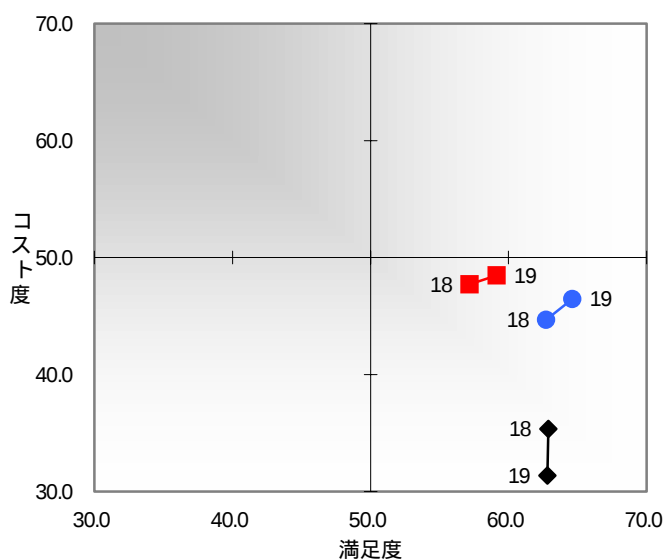
コスト度はほぼ横ばい、満足度はやや上昇しています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 人権の尊重(●)

コスト度・満足度ともやや上昇しています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

ウ) 文化・芸術の振興()

コスト度はやや低下、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。



市民が主役のまちづくり

ア) コミュニティ支援(■)

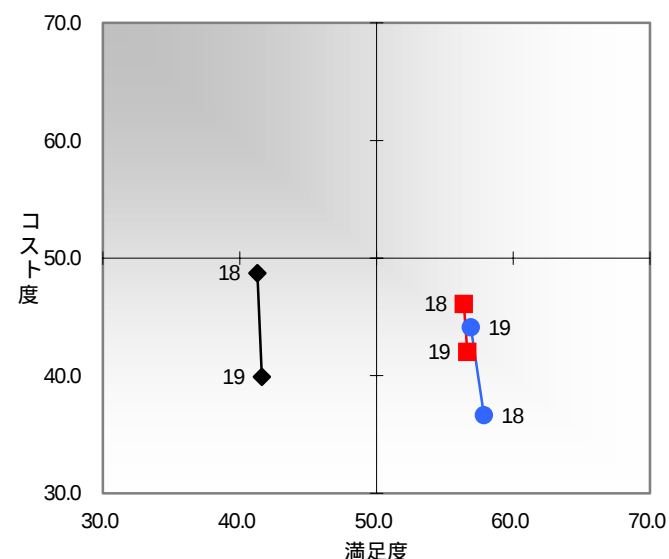
コスト度はやや低下、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

イ) 市民参加の促進(●)

コスト度は上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。

ウ) 協働の推進()

コスト度は低下、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。



子どもを育むまちづくり

ア) 子どもの教育環境の充実(■)

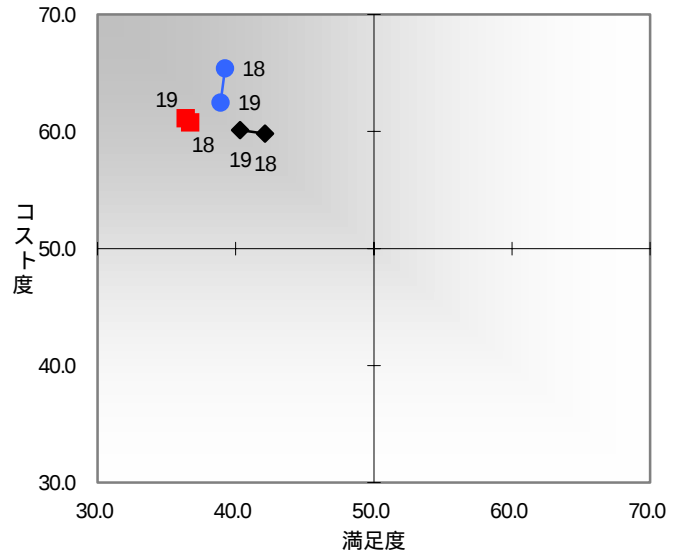
コスト度・満足度ともほぼ変化ありません。
2か年連続で『重点化領域』となりました。

イ) 子どもの健全育成(●)

コスト度はやや低下、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 子育て支援()

コスト度はほぼ横ばい、満足度はやや低下しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。



緊急時の対策がとられているまちづくり

ア) 消防機能の充実(■)

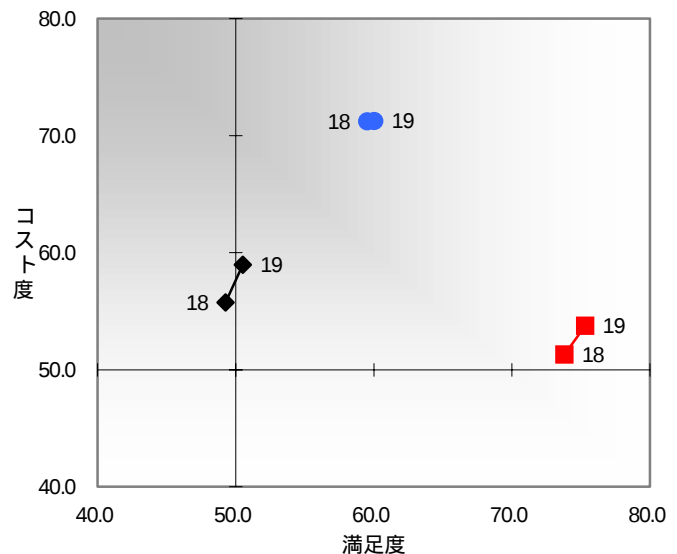
コスト度・満足度ともやや上昇しています。
2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

イ) 救急医療の充実(●)

コスト度・満足度ともほぼ変化ありません。
2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。

ウ) 災害対策()

コスト度・満足度ともやや上昇しています。
『重点化領域』から『ニーズ確認領域』に変わりました。



にぎわいのあるまちづくり

ア) 国内・国際交流の促進(■)

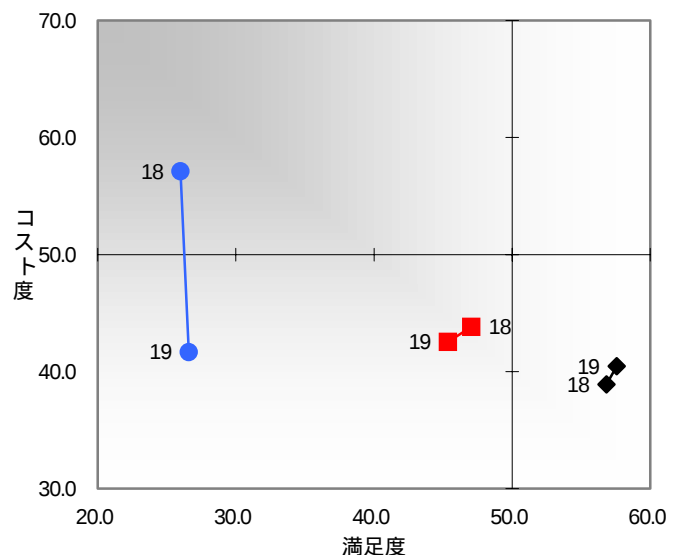
コスト度・満足度ともやや低下しています。
2か年連続で『対応検討領域』となりました。

イ) 市街地の活性化(●)

コスト度は低下、満足度はほぼ横ばいとなっています。『重点化領域』から『対応検討領域』に変わりました。

ウ) 観光の振興()

コスト度はやや上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『効率化領域』となりました。



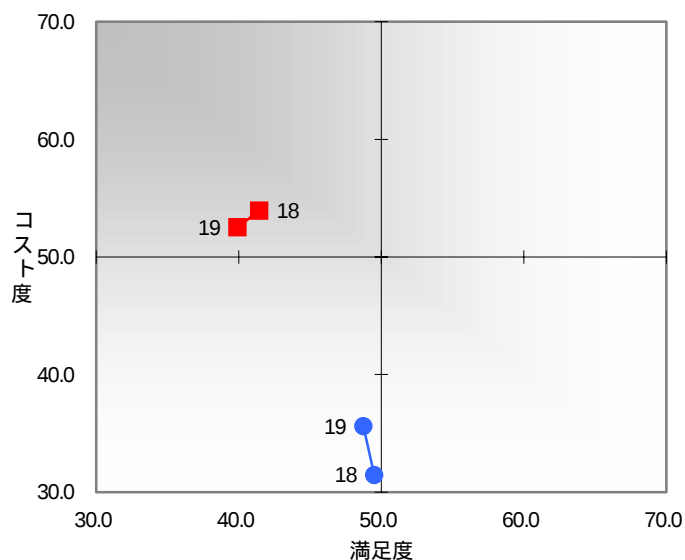
快適な生活環境を守るまちづくり

ア) 道路・交通網の整備(■)

コスト度・満足度ともやや低下しています。
2か年連続で『重点化領域』となりました。

イ) 住宅環境の整備(●)

コスト度はやや上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。



心やすく自然環境を守るまちづくり

ア) 環境汚染防止対策(■)

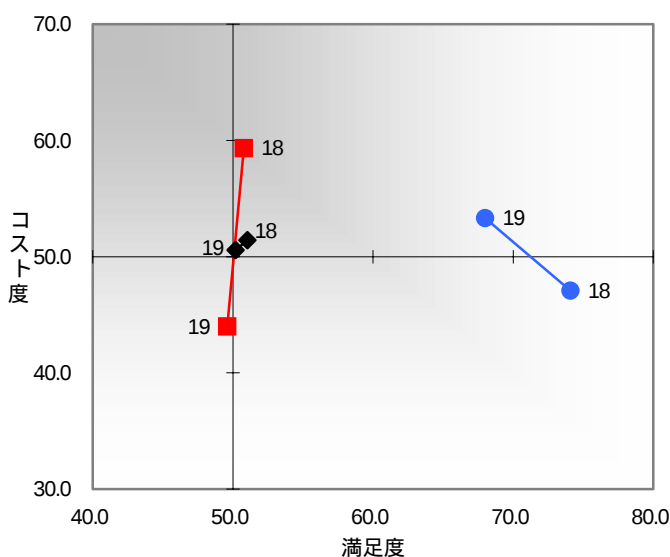
コスト度は低下、満足度もやや低下しています。『ニーズ確認領域』から『対応検討領域』に変わりました。

イ) ごみの減量化とリサイクルの促進(●)

コスト度は上昇、満足度は低下しています。『効率化領域』から『ニーズ確認領域』にかわりました。

ウ) やすらぎ空間の創出(○)

コスト度・満足度ともほぼ変化ありません。2か年連続で『ニーズ確認領域』となりました。



経済活動が活発なまちづくり

ア) 良好な労働環境の整備(■)

コスト度はやや上昇、満足度はやや低下しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

イ) 新産業創出支援(●)

コスト度はほぼ横ばい、満足度はやや低下しています。2か年連続で『重点化領域』となりました。

ウ) 商工業の振興(○)

コスト度はやや上昇、満足度はほぼ横ばいとなっています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。

エ) 農林漁業の振興(▲)

コスト度はやや上昇、満足度はやや低下しています。2か年連続で『対応検討領域』となりました。

